

平成30年度 第3期和泉市男女共同参画行動計画(オアシスプラン)施策及び実績報告

基本目標Ⅰ 男女平等の意識を育む施策の方向 施策の方向 1 学校・園における男女平等教育の推進

施策① 男女平等教育の推進

No	事業
1	各幼稚園・学校や保育所で、男女平等教育推進計画並びに保育計画を策定し、園や学校、保育活動での取組、教職員等の研修、保護者への働きかけ等を積極的に推進し、教育・保育環境を整備します。 ◆保育計画に基づく人権の視点からの男女平等教育の実践と共有 ◆人権教育推進計画に基づく教育活動の取組とその評価・公表 ◆ユニバーサル・デザインに基づく学校施設の整備・改善

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・環境(色・玩具等)や色々な遊びにおいて、男女による区別がないように取り組み、子どもたちが思いのまま感じられるよう保育活動や環境を整えた。(色の選択、遊びの選択、順番決定時、劇遊びの配役等) ・生活の中で、「男は・・・」「女は・・・」等の発言がある場合は、子どもたちと一緒に、男女の区別なく「自分らしく」と考える場を持ち、子どもたち自身が男女平等ということに気づけるようした。	1	3	1	1	1	長年、日常の保育・教育の場面で取り組みを継続している。	2	こども未来室
各学校園で男女平等教育推進計画を含む人権教育推進計画を策定し、それに基づいた教育活動を推進した。	2	3	3	1	1	男女平等教育を推進するため、引き続き人権教育推進計画を策定するとともに、実績報告の内容を分析し、次年度の計画に反映させる。	2	教育委員会指導室
学校施設について利用者への配慮も含め可能な限りユニバーサル・デザインを取り入れた。トイレ改修などにおいて男女別の標識について「コダイ・ロマン」で表示したり、誰でも使用しやすいように、導線の確保や段差の解消を行う施工を行った。公共施設の観点から児童・生徒の施設利用だけに特化するものではなく、年齢・性別・障がいの有無に関係なく誰でも使用しやすいような施工をこころがけている。	1	3	1	1	1	学校施設を利用する市民に利用しやすい環境整備を優先する必要がある、ユニバーサル・デザインに基づく視点をどの程度取り入れるかが課題である。	2	教育委員会教育総務室

No	事業
2	「男女平等教育推進モデル校(園)」においては、当事者である子どもと教職員への振り返り調査を実施し、男女平等教育モデル校(園)での成果を1年ごとにまとめ、公表するとともに、次年度の取組に活かします。 ◆モデル校の実践の発信

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
推進モデル校園(信太小学校、鶴山台北小学校、鶴山台南小学校、信太中学校)が取組みをまとめた冊子を作成し、市内小中学校及び義務教育学校、市立図書館に配付した。	1	2	1	1	1	同じ中学校区の4つの学校が合同で研修会を開き、3小学校では共通の教材を使って「LGBT」等の性的マイノリティへの理解を深めるための授業を行い、指導方法についての研究が進んだ。	2	教育委員会指導室

No	事業
3	教職員や保護者等が、デートDVや性犯罪(児童ポルノや児童虐待等)等についての認識を深めることができるよう情報提供します。 ◆教職員、保護者、子どもなど対象者に応じて選択し、大阪府から提供のポスター、パンフレット、データを提供 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)		1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	
大阪府府民文化部男女参画・府民協働課政策主催の「府内学校教職員のための研修」の広報を6月と12月に行い、教職員に周知した。また、庁内のDV防止研修会の情報提供も行った。	2	3	1	1	1	研修案内を配付するだけでなく、府の研修で学んだことを伝達するなど、積極的に情報を提供する。	2	教育委員会指導室
「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で講演会を実施した。 タイトル: イマドキの恋愛事情を考える～暴力も束縛もない関係づくりのために～ 開催日: 平成30年11月7日(水) 参加人数: 153人/定員: 200人	1	3	1	1	1	大学構内で講演会を実施することにより、より多くの学生を対象に意識の向上ができたと思う。 引き続き桃山学院大学と連携し実施していきたい。	2	人権・男女参画室

No	事業
4	教職員や保護者等が、性的マイノリティ等についての認識を深めることができるよう情報提供します。 ◆学校に向けて文部科学省等からの啓発物等を提供 ◆男女共同参画センターの図書コーナー等での啓発

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進まなかった	(1)	(2)	(3)			
・府教育庁が教職員向けのセクシュアル・ハラスメント防止指針を昨年度改定した。性的マイノリティに関する項目が新たに数点加わっているので校長ヒアリング・研修会で繰り返し周知を行った。 ・学校園の担当者及び管理職対象に「子どもが安心して過ごせる教育現場のために～セクシュアル・マイノリティとされる子どもへの配慮について～」という題でセクシュアル・マイノリティ当事者に講演していただいた。当日は、49名の教職員が参加し、LGBTについての理解を深めた。	1	2	1	1	1	今年度いくつかの学校や教頭会が講師を招いて研修会を開催するなど、教職員の意識が高まってきている。学校において性的マイノリティに対するハラスメントに限らず、あらゆるハラスメントをなくしていく取り組みをすすめていく。	2	教育委員会指導室
性的マイノリティ関連情報を収集し、モアイずみ（和泉市男女共同参画センター）の掲示板に掲示し、啓発を行った。 また、男女共同参画センター図書コーナーにおいて、『LGBTを読み解く～クィア・スタディーズ入門』等の貸出を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報収集等に努め、LGBTの理解促進に一層の啓発を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業
5	自らの身体と相手方の身体について正しい理解を深め、性に関する適切な態度や行動の選択ができるよう、発達段階に応じた性教育に取り組みます。 ◆保健体育や総合的な時間を利用して性教育を実施 ◆小中生活指導協議会でのアンケートの実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
学習指導要領に基づき、小中9年間を見通した性教育に取り組んだ。 ○小学校1・2年…生命を大切にすることを（道徳） ○小学校3・4年…体の発育・発達についての理解（保健） ○小学校5・6年…思春期の体の変化や心の発達、不安や悩みへの対処についての理解、男女で助け合うこと（保健・道徳） ○中学校…生殖機能の成熟、性情報への対処、異性についての正しい理解や人格の尊重（保健・道徳・特活）	2	3	1	1	1	男性、女性について学ぶだけでなく、性の多様性を意識しながら、取組みを進めている。	2	教育委員会指導室
和泉市小中生活指導研究協議会事務局で、小学4年生から中学3年生を対象に、性に関する事項を含めた「安全意識」のアンケートを平成24年度から平成29年度まで実施した。その結果から、携帯電話・スマートフォンを利用する時に気をつけなければならないことをまとめ、長期休業前の保護者等への「休みの過ごし方」啓発文書等で周知した。	2	3	3	1	1	市内全学校園で小学4年生から中学3年生の児童生徒と保護者を対象に6年間アンケートを実施してきたので、今年度はアンケート実施は見送った。来年度以降も、6年間のアンケート結果から得た実態をもとに、携帯電話・スマートフォンの利用の方法について啓発を続けていく。	3	教育委員会指導室

No	事業
6	市民活動等と連携し、子どもたちが暴力の被害者にも加害者にもなることを防ぐための情報や学習機会の提供を定期的に行います。 ◆教職員対象に人が本来持っている生きる力を湧き出させる研修の実施 ◆子ども対象の「犯罪防止教室」の実施 ◆「被害者救済システム」の周知 ◆保育所・幼稚園における「不審者侵入対処訓練」の実施 ◆保育所・幼稚園における「こどもたちに伝える5つの約束」の徹底

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
子どもが外出した際に自分の身を守る方法や、携帯電話・スマートフォン等によってトラブルに巻き込まれないようにするための方法について、各学校で子どもたちに確認するように指示した。	2	3	1	1	1	携帯電話・スマートフォン等の使用によりトラブルに巻き込まれないように新たな情報を提供していく。	2	教育委員会指導室
全小中学校で、警察や薬剤師会等と連携して「犯罪防止教室」「非行防止教室」「薬物乱用防止教室」等を実施した。 小学校では、警察と少年サポートセンターと連携して「非行防止教室」を小5・小6対象に全小学校で実施した。 中学校では、警察や少年サポートセンターと連携して「犯罪防止教室」か「非行防止教室」を全中学校で実施した。 「薬物乱用防止教室」については、薬剤師会等と連携して全小中学校で実施した。	2	3	3	2	2	今後も全学校園で取り組んでいく。	2	教育委員会指導室

校長会や研修の場で、昨年度改定された「被害者救済システム」について周知した。 学校では「被害者救済システム」に基づく「子ども家庭相談室」の広報用カードを小学1年生と中学1年生全員に配付した。	2	3	1	1	1	今後も周知を徹底していく。	2	教育委員会指導室
・年間計画のとおり、各園にて、いろいろな場面を想定した不審者侵入対処訓練を実施した。 園外保育時、日常の時間帯、午睡後、土曜日の午後など、いつ起こるかわからない不審者侵入を想定して訓練を実施し、見えてきた課題などを職員間で話し合う時間を作った。 ・送迎時には、その場にいる保護者に一緒に参加していただいたり、公園では、まわりにいる人に訓練であることの声かけをして実施し、訓練の様子を知っていただいたりした。	2	3	1	1	1	いろいろな場面や職員体制、時間帯など想定して実施した。 幼稚園の訓練を目標回数、実施できた。	2	こども未来室
・「5つの約束」のDVDを各園に配布しており、視聴した。 ・不審者対処訓練の一つとして、紙芝居・職員劇等で、子どもたちにわかりやすいように伝える。また、その日の子どもたちの様子を保護者に伝え、子どもたちを暴力から守ることの大切さを保護者にも考えていただく機会になるようにした。	2	3	1	1	1	5つの約束の看板ポスターを掲示している。 保護者からの相談時にも伝えた。	2	こども未来室

施策② 一人ひとりの自立・職業意識を育む教育の推進

No	事業
7	キャリア教育をする上で重要な取組という観点に立って職場体験学習を実施するために、教職員に対してキャリア教育に関する情報や学習機会を提供します。 ◆キャリア教育担当者の研修の実施

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組開始 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
泉北3市1町キャリア教育担当者研修会を実施し、「キャリア教育の推進にむけて」というテーマで講義及びグループワークを行った。 参加者…和泉市からは30名	2	3	1	1	1	子どもたちの自立・職業意識を育むために、今後も教職員対象のキャリア教育に係る研修を充実させていく。	2	教育委員会指導室

No	事業
8	子どもの発達段階に応じて、性別に捉われることなく自らの生き方を考え、自分の意志と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身につけることができるよう、キャリア教育の指導計画を作成し、それに基づいた進路指導を行います。 ◆中学校区における「キャリア教育全体指導計画」の策定 ◆中学校への職場体験学習実施のための情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
中学校区単位・義務教育学校区で策定した「キャリア教育全体指導計画」に基づいた取組みを進め、成果と課題を踏まえて計画の見直し・改善を行った。	2	3	3	2	2	全体指導計画を見直す中で、男女共同参画の視点があるかを確認する。	2	教育委員会指導室
校長会や進路担当者会議(月1回)において、職場体験学習に向けての指導や進路指導について、情報提供及び指示をした。 具体的には、市役所内での職場体験について、各中学校の体験実施希望時期や人数を集約し、庁内各課に依頼した。 また、大型商業施設(コストコ、ビバホーム)や市立図書館についても、各中学校の体験希望を集約し、様々な事業所に体験を依頼することができた。	1	2	3	1	1	子どもたちが、性別にとらわれることなく自らの生き方を考えることができるよう、職場体験に向けた取組みや進路指導を工夫していく。	2	教育委員会指導室

No	事業
9	特に、女子や障がいのある人について、厳しい就業状況を踏まえ一人ひとりに対応した支援をします。 ◆支援学校や障がい者施設との連携の充実 ◆日中活動系事業所の情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
校長会や進路指導担当者会議において、将来の就労のために必要な進路情報を周知し指導を行った。また、支援学校、関係機関、障がい者施設との連携の充実に努めた。	2	3	1	1	1	支援学校への進学にあたり、学校見学・学校体験を十分するように指示し、中学校(義務教育学校)と支援学校との間で、生徒の情報共有も行った。	2	教育委員会指導室
基幹相談支援センター・相談支援事業所等において、日中活動系事業所に通所を希望する障がい者に情報提供やその他の支援を行った。また、就労を希望される場合には、公共職業安定所(ハローワーク)を紹介したり、その他就労に関する様々な相談については、障害者就業・生活支援センターを紹介するなどの支援を行った。 基幹相談支援センターと相談支援事業所3ヶ所で相談を受けた人数は、合計397人(実人数)であり、その支援内容と件数は、福祉サービスの利用等に関する支援が2,083件(延べ件数)、不安の解消・情緒安定に関する支援が647件(延べ件数)等となっている。	2	3	3	1	1	引き続き、障がい者が通所等を希望される場合には、適切に支援をする。	2	障がい福祉課

No	事業
10	市役所においてインターンシップを受け入れます。 ◆インターンシップ事業 ◆桃山学院大学生インターンシップの受け入れ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組開始 4.進捗なかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により、学生2名を下記のとおりにインターンシップとして受け入れた。 都市政策課・・・平成30年8月10日～平成30年8月17日 読書振興課・・・平成30年8月27日～平成30年9月 2日 【内訳】女性1名、男性1名	2	3	1 1 1	事業予定のとおりに堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会との連携により2名のインターンシップの受け入れを行い、施策の推進に寄与した。	2	人事課
学生の要望がなかったため実施しなかった。	4	4	3 2 2	今年度も引き続き、受け入れ体制を整え、業務に携わってもらいながら、男女共同参画について学ぶ機会の提供を行う。	2	人権・男女参画室
和泉シティプラザ指定管理者の公共施設管理公社が桃山学院大学の学生の受け入れを行った。平成30年度は女性1名が保健福祉センター、男性2名が出張所でインターンシップを実施した。	2	3	2 2 2	今後も引き続き、公共施設管理公社と連携し、事業を行う。	2	生涯学習課

施策③ 教職員・保育士等の男女平等意識の向上

No	事業
11	教職員や保育士等が固定的な性別役割分担意識に捉われず、男女平等の意識を持って子どもたちを指導できるよう、研修の充実を図ります。 ◆校内推進体制確立のための校長会での意識づけ ◆乳幼児人権教育研究会による研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組開始 4.進捗なかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
全学校園において、男女平等教育についての研修(職員会議等の中での伝達、資料の周知を含む)を行った。	1	3	3 1 1	各学校園で行っている研修内容を把握し指導・助言をしていく。	2	教育委員会指導室
乳幼児人権教育研究会による研修を年間4回実施 ・「英語であそぼう」和泉市立小中学校 ALT サラ・デヨング氏 ・「子どものがんばりを支えるために」放課後児童ディ わおん 金井 孝明氏 ・「子どもの貧困問題と養育困難家庭への支援について 朝日新聞大阪支社中塚 久美子氏 ・「個別支援と共生保育とは」 ちやいんどネット大阪 「障がい共生保育」研究プロジェクト 運営スタッフ 杉本 節子氏	2	3	2 1 1	男女共同参画という点に特化していないが、人権を大切にしたいという点では、意識を高めることが出来た。	2	こども未来室

No	事業
12	小中学校に男女平等教育・人権教育担当者を置き、男女平等の視点に立った実践事例研修や男女平等教育の研修を推進します。 ◆各校に男女平等教育の担当教員の配置 ◆男女平等教育実践事例や指導事例集(府)を活用した校内研修

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
各校で、人権教育担当教員とは別に男女平等教育の担当教員(1名以上)を置くように指示した。	1	3	1	1	1	今後も男女平等教育の担当者を置くよう指示する。	2	教育委員会指導室
男女平等教育実践事例(本市)や指導事例集(大阪府)を活用した校内研修(実践の紹介や指導内容の工夫や改善等について)の推進を指示した。	2	3	3	1	1	今後も研修を行うように指示していく。	2	教育委員会指導室

No	事業
13	セクシュアル・ハラスメント、性犯罪に関する研修並びに今日的な課題に対して研修を実施します。 ◆各校の管理職・担当職員へのセクシュアル・ハラスメント防止や今日的課題に関する研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
管理職及び担当教員を対象として、市教委主催のセクシュアル・ハラスメント防止研修を実施した。その後、各学校の校内研修の中で、研修資料をもとに管理職及び担当教員から伝達研修を行った。 今年度の研修対象者は、64人で、49人が出席し、出席率は77%だった。	1	2	1	1	1	今年度は2月に実施したが、次年度は夏期休業から2学期の間に実施し、余裕をもって各学校園内での周知・研修をできるようにする。	2	教育委員会指導室

施策④ 家庭での男女平等・男女共同参画の推進

No	事業
14	固定的な性別役割分担意識に捉われない家庭運営や子育てができるよう、保護者を対象に、男女平等や男女共同参画について学べる家庭教育に関する学習機会を提供します。 ◆モデル校(園)の実践報告会の実施 ◆保護者に対し、保育所・幼稚園における男女平等・男女共同参画推進のための保育の取組について積極的に情報提供を実施 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
各校でのPTAの中に、人権啓発委員会等を組織し、男女平等や男女共同参画を含めた人権学習(男女が互いを尊重することの大切さ等)に取り組み、家庭・地域社会との連携のもとに人権意識の高揚に努めるよう指示した。	2	3	3 2 2	PTA活動における男女共同参画の視点について、指示する。	2	教育委員会指導室
・保育参観、半日保育参加等をととして、園内の環境を見てもらい、日頃から男女平等、男女共同参画の視点で保育の取り組んでいることを、知ってもらった。 ・運動会、発表会、園だより、クラスだよりを通して取り組みを伝えることができた。	2	3	1 1 1	今後も行事等で啓発していく。	2	こども未来室
子育て応援講座の開催 「お父さんと一緒に作るヘルシー豆腐デザート」 開催日:12月1日(土) 参加人数:11組(25人)/定員:12組 「親子でDIY教室～お父さんと一緒に手作り家具を作ってみよう」 開催日:3月21日(木) 参加人数:11組(23人)/定員:12組	1	3	1 1 1	親子で参加できるよう、父親が参加しやすいよう配慮に努め、取り組んでいく。	2	人権・男女参画室

No	事業
15	家庭教育における悩み・問題について、男女平等・男女共同参画の視点を持ちつつ、解決に導く「教育相談」を充実します。 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
家庭教育での悩み・問題についての相談に応じ、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、こども未来室や子ども家庭センターと連携して必要な支援を行った。スクールカウンセラーは、16小学校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。小学校での相談件数は、1,419件、相談人数2,025人。中学校での相談人数は、4,020人である。スクールソーシャルワーカーは、2名を拠点校に配置し、様々な事案に初期段階から関わり、早期対応を充実させ、チーフスクールソーシャルワーカーが各ワーカーの管理・統括をし、支援体制の充実を図った。また、担当校からの要請のあった件についても、相談に応じ、支援を行った。	1	1	2 1 1	教育相談や支援体制の充実のため、さらに、スクールカウンセラーの市内小学校配置校を増やし、チーフ・スクールソーシャルワーカーやスクールソーシャルワーカーの活動時間を増やしていく。	1	教育委員会指導室

施策の方向(2)地域における男女平等学習の推進

施策⑤ 多様な選択を可能にする学習機会の提供

No	事業
16	地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆校区別人権研修会 ◆市民カレッジ(指定管理者が実施) ◆成人教室(琴、茶道、華道) ◆青少年男女共同参画事業 ◆出前講座

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
(1)男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座 モアいずみ塾 例年実施しており男女共同参画社会づくりのために、自分を磨き輝きたい人が色々な人生との出会いを求めて、自ら学び、考え、行動する実践的な内容で実施。29年度は下記の内容で実施した。(定員30人・申込人数 17人(修了者数4人)(延べ参加人数124人) ①9/6 知ってるつもりで知らないこと！男女共同参画！? ②9/20 法律からみる今どきの性と性、今どきの防災 ③10/4伝統的な慣習としきたり～あたりまえを見直そう！～ ④10/18あなたのアイデアを形にしてみよう！ ⑤11/1共感を呼ぶアイデアを発信に活かそう！ ⑥11/15 今どきの働き方、暮らし方、今どきのメディアの見方 ⑦11/29 地域での活動事例および修了式 ※7回連続の講座数を午前・午後で分けて数えて13講座となる ※修了証を取得するには、10講座以上の出席が必要	1	3	1 1 1	今年度は、定員30人で申込が17人だった。今後においては、更に多くの市民に参加してもらえるよう、日程や企画の見直しをし、男女平等・男女共同参画の考え方が更に定着するよう努める。	3	人権・男女参画室
・和気校区と鶴山台南校区でLGBTをテーマにした人権研修を実施し、地域住民の理解を深めた。 ・女性の人権課題などを含む啓発用広報物を配布し、啓発した。	1	2	3 1 1	今後もLGBTなどの課題を含め、各団体と連携して啓発事業に取り組んでいく。	2	人権・男女参画室
平成28年度に開学した市民大学は、3年目の開講となり、引き続きまちづくり学部と教養学部を設置した。まちづくり学部には32人、教養学部には593人の申込があった。教養学部は前期6講座、後期6講座の計12講座を実施し、人文科学や社会科学、芸術など専門的な分野を楽しく、分かりやすく学び、自らの知識を広げる講座を展開した。	2	3	2 2 2	平成28年度からスタートした市民大学は3年目を終えた。今後も委託先の管理公社と連携し、事業を継続・発展する。	2	生涯学習課
成人教室(琴、茶道、華道)を開講。市民の生涯学習の推進に努めた。 琴：女性5人、男性0人 茶道：女性17人、男性2人 華道：女性13人、男性1人	2	3	2 2 2	日本の伝統文化を学ぶ機会を提供するため、引き続き事業を実施する。	2	生涯学習課
楽しく手軽にでき、性別に関わりなく自身の個性と能力が発揮できるスポーツ(ニュースポーツ)としてキンボール遊びを夏のユースゼネレーションで予定したが、熱中症予防のため延期となり、冬のユースゼネレーションで「ポケットボール」を実施し、目標(定員)24人に対し20人(男7人・女13人)の参加があった。	2	3	1 1 1	性別・学年の枠を超えて共に競技し、男女共同意識の育成へ繋げました。しかし、夏休みに計画した講座が気象状況により延期となり、規模と参加人数は減少しました。今後、講座開催にあたり実施環境(気候等)も十分考慮したうえで、子ども達が参加する中で、楽しみながら自然と男女共同参画の意識が育まれる取り組みをめざします。	2	青少年センター
依頼がなく未実施。	4	4	3 2 2	事業実施依頼がなく未実施となった。出前講座以外の手法を考える必要がある。	3	公民協働推進室

No	事業
17	地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するように、研修会、学習会等を企画・実施します。 ◆広報いずみやホームページ等での周知の充実 ◆シティプラザ通信の発行、モアイずみ通信、広報いずみやHPでの周知の充実 ◆市政情報発信事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
親学習講座など、男女に関わらず参加してもらいたいイベントのチラシを各種掲示版やチラシBOXに配置した。	2	3	2	2	2	今後も多様な媒体を活用し、事業を継続する。	2	生涯学習課
・モアイずみ通信、広報いずみ、和泉シティプラザ通信、HP、いずみメールでイベントや講座の情報を提供を行った。 ・女と男のフォーラムや男女共同参画週間事業については、コミュニティ誌にも掲載を依頼した。 ・講座のチラシ・ポスターを関係施設に配架した。 ・他部署がイベント等開催時にチラシの配布協力依頼を行い連携し、周知に努めた。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、広く市民に情報提供を行う。より多くの市民が参加できるよう、情報提供の手法について今後も考えていく。他部署と連携し、より一層の周知を図る。	2	人権・男女参画室
市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・いずみメールでも情報配信を行った。	2	3	1	1	1		2	いずみアピール課

No	事業
18	生涯を通じた経済的自立の観点からの消費者行政を充実します。 ◆消費者生活啓発出前講座 ◆消費者月間事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
複雑多様化している消費者トラブルに対応し、被害の未然防止と自立した消費者を育成するため、高齢者向け(7回)、小学生向け(3回)、大学生向け(2回)、児童・生徒の保護者向け等(6回)の出前講座を18回(参加者1,382人)実施した。(平成31年3月末時点)	2	2	3	1	1	今年度は障がい者向けと福祉関連事業所向けに障がい者への被害防止に努めた。	2	福祉総務課
消費者月間(5月)に、和泉府中駅と和泉中央駅市内主要2駅前で啓発ティッシュ2,000個、チラシ2,000枚を啓発活動として配付した。	2	2	3	1	1	市内の主要2駅で啓発活動が行えた。次年度も継続して行う。	2	福祉総務課

施策⑥ 女性の意思決定の場への参画に向けての人材育成の充実

No	事業
19	女性のチャレンジを支援するための情報提供や各種講座を実施します。 ◆和泉市男女共同参画センターの図書コーナーの充実

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
シニアシングル女性の知恵と現実を経験と調査で示した『女たちの知恵と縁』の図書購入、悩みや不安を抱えた女性がそれぞれ自分らしく生きることが描いた『パパが遺した物語』『いのちのコール／ミセスインガを知っていますか』などのDVDを購入し、図書の充実に努めた。	1	3	1	1	1	図書コーナーの広報に努めるとともに、図書・DVDの充実を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業
20	「女と男のフォーラム」の企画・運営等を通して女性のエンパワメントを支援します。 ◆「女と男のフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
和泉市男女共同参画推進市民実行委員会と共同で企画・運営を協働で行い、「女と男のフォーラム」を開催した。 テーマ：一人ひとりの個性があって、ええねんで！ 性的マイノリティの人権問題を一緒に考えましょう 講師：はるな愛さん 開催日：平成30年10月13日(土) 参加人数：380人/定員：660人	1	3	1	1	1	引き続き、企画・運営を通じ女性のエンパワメントにつなげられるよう取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業													
21	モアいずみ通信やホームページ、さらには「いきいきライフ講座」等を通じて、様々な分野で活躍する女性をロールモデルとして紹介します。 ◆いきいきライフ講座、いずみワクワク講座の開催													
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。					【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。									
実施状況(事業報告)					今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
モアいずみ通信5月号にて、和泉市の女子サッカーチーム「和泉テクノFC」を掲載。また、モアいずみ通信7月号にて、大阪商工会議所が主催する大阪サクヤヒメ表彰(仕事と家庭を両立する人を応援するために創設)を受賞された和泉市在住の女性を紹介。 いずみワクワク講座「天然石アクセサリー講座」では子育て中でも、在宅で収入を得るためにできる起業の話、「白みそづくり講座」では地元の食材を中心に使った加工品や伝承活動をされている女性たちのお話を聞いた。 白みそづくり体験 開催日:平成30年11月22日(金) 参加人数:17人/定員:15人 天然石アクセサリー講座 開催日:平成30年10月13日(土) 参加人数:15人/定員:15人					1	3	1	1	1	いきいきライフとしては、ロールモデルとなる女性の講師での開催はなかったが、いずみワクワク講座で和泉市で活躍している女性を講師として招き、講座を開催した。引き続き、講師をロールモデルとした講座を実施し、受講者の気づきにつなげる。			2	人権・男女参画室

施策の方向(3)男性にとっての男女共同参画の推進

施策⑦ 家庭・地域への男性の参加・参画の推進

No	事業												
22	男性が仕事中心の生き方を振り返り、家庭や地域に参画するきっかけづくりとして、学習や交流機会の充実を図ります。 ◆親学習講座 ◆エンゼルハウス運営事業 ◆行事や半日保育参加への呼びかけ ◆「子育て応援講座」「男性学講座」の開催												
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。													
【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。													
実施状況(事業報告)						今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
親学習講座など、男女に関わらず参加してほしいイベントのチラシを各種掲示板やチラシBOXに配置した。 親学習講座実績:第1回-6人、第2回-19人、第3回-11人、第4回-6人、第5回-4人、第6回-30人、第7回-48人、第8回-6人、第9回-20人、第10回-7人、第11回-6人、第12回-14人、第13回-135人、第14回-14人、第15回-8人 計334人						2	3	2	2	2	親に限定せず、小中学校の児童生徒も対象とした親学習講座を継続する。	2	生涯学習課
エンゼルハウスでの親学習を通じて、父親の子育て参加を促し、家族で参加する「Familday」及び「お父さんデー」毎月1回実施。 市内にエンゼルハウス5ヶ所を設置し、運営。 【年間エンゼルハウス参加人数】 ・鶴山台:12,787名 ・府中:10,342名 ・北松尾:13,184名 ・和泉中央:12,563名・青葉台:14,361名						2	3	2	2	2	参加者に対しておおむね支援を行うことができた。今後も引き続き支援体制を図る。	2	こども未来室
父母にかかわらず、半日保育への呼びかけをした。 運動会、発表会では、男性の参加は女性同様に多かった。 発表会においては園児数の多い園では、平日と土曜日の2回おこない、父親等の男性が参加しやすくなるようにした。						2	3	1	1	1	参加しやすいように行事の日程を平日と土曜日の両方を可能な限り計画する。	2	こども未来室
1子育て応援講座 ①「乳幼児救命救急講習」 開催日7月28日(土) 参加人数:17組(23人)/20組 ②「お父さんと一緒に作るヘルシー豆腐デザート」 開催日:12月1日(土) 参加人数:11組(25人)/定員:12組 ③「親子でDIY教室～お父さんと一緒に手作り家具を作ってみよう～」 開催日:3月21日(木) 参加人数:11組(23人)/定員:12組 2男性学講座 ①初めてのメンズヨガ 開催日:平成31年3月9日(土) 参加人数15人(男性15人女0人)/15人定員 ②初心者向けDIY教室～暮らしに役立つモノづくり～ 開催日:平成31年3月21日(木) 参加人数9人(男性5人 女性4人)/15人定員						1	2	1	1	1	今年度の子育て応援講座については、例年より多く企画し子どもと関わる講座を多く開催した。また男性学講座についてはタイトルにメンズヨガと明確に記載することによりターゲットを男性にまとを絞れた。	2	人権・男女参画室

No	事業											
23	男性の意識改革や生活自立のための実践的な家事講座等を実施します。 ◆男性学講座											
【今年度の事業の実施度】					【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】							
1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。					1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。							
実施状況(事業報告)					今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
男性学講座 ①初めてのメンズヨガ 開催日：平成31年3月9日(土) 参加人数15人(男性15人女0人)/15人定員 ②初心者向けDIY教室～暮らしに役立つモノづくり～ 開催日：平成31年3月21日(木) 参加人数9人(男性5人 女性4人)/15人定員					1	3	1	1	1	はじめてのメンズヨガについてはタイトルに男性と明確に記載することにより、ターゲットを男性に絞ることができた。また、運動系の講座を今まで開催したが、今までより多くの申込があり、申込人数は定員を上回った。DIY教室については、女性の参加もあったので、夫婦で参加するなど対象を検討すると良い。	2	人権・男女参画室

施策の方向(4) 男女平等意識の浸透

施策⑧ 固定的な性別役割分担意識を解消するための市民への働きかけ

No	事業												
24	「何について(男女平等に関する課題)」「誰に向かって(例えば「男性に」等、対象者を絞り込む)」「どんな方法で(広報紙、ホームページ、講演会、「男女共同参画週間」「人権週間」の時に、等)」を的確に判断し、体系的、段階的に市民への啓発活動を進めます。 ◆市政情報発信事業 ◆「男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)」「女と男のフォーラム」 ◆男女共同参画週間等に合わせた資料展示 ◆市子ども会育成連絡協議会や青少年問題協議会への啓発紙の配布 ◆男女共同参画等に関する資料展示 ◆男女平等の意識を育む ◆中学校区における人権研修会や講演会等の地域への啓発活動の実施 ◆広報・ホームページ												
	【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。					【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。							
実施状況(事業報告)					今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)		成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
市の施策やイベント・講座などの情報を広報いずみを通じて全戸配布するとともに、ホームページやTwitter・Facebook・いずみメールでも情報配信を行った。(再掲 I-2-5-17)					2	3	1	1	1			2	いずみアピール課
①男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日：平成30年6月16日(土) 内容：映画「オケ老人！」上映 参加人数：464人/600人定員 ②女と男のフォーラム 開催日：平成30年10月13日(土) 内容：一人ひとりの個性があって、ええねんで！ 性的マイノリティの人権問題を一緒に考えましょう 講師：はるな愛さん 参加人数：380人/660人定員					1	3	1	1	1		男女共同参画の視点を取り入れつつ参加者を確保できる作品選びや広報の方法など工夫し、市民への啓発を行う。	2	人権・男女参画室
男女共同参画週間事業(ミニフォーラム)や女と男のフォーラムで、モアイずみ(和泉市男女共同参画センター)及びモアイずみ登録団体の活動内容を各団体一言メッセージを添えてパワーポイントを上映した。					1	3	1	1	1		引き続き、登録団体の活動内容等を市民に対し周知を行い、協働して参画することの必要性を発信していく。	2	人権・男女参画室
女と男のフォーラム等、イベント情報を積極的に情報提供した。					2	3	2	2	2		今後も引き続き、積極的な情報提供を行う。	2	生涯学習課

和泉図書館及びシティプラザ図書館において、男女共同参画週間中コーナーを設け展示を行った。また北部リージョンセンター図書室においては、女性の健康週間中コーナーを設け展示を行った。POPの作成や資料の表紙を見せながら展示するなど、手にとりやすい工夫を行った。	1	3	2	1	1	前年度はシティプラザ図書館のみでの実施となったが、今年度は和泉図書館でも資料展示を実施した。引き続き複数の図書館で実施していくよう指定管理者と調整していきたい。	2	読書振興課
男性保育士が日々の保育をしたり育児を担当することや、父親の育児参加を呼びかけることで市民に対する性別役割分担意識を解消するための働きかけとなっていると思う。	2	3	2	2	2	送迎時等、日頃からコミュニケーションをとり働きかけをする。	2	こども未来室
地域において男女平等・男女共同参画の考え方が定着するよう、中学校区単位の地域教育協議会での講演会、各校PTAの人権啓発活動(性教育について等)を実施するよう指示した。	2	3	3	2	2	PTAで研修会を開いた学校があった。PTA活動に男女共同参画の視点を取り入れるよう指示する。	2	教育委員会指導室
高齢介護室のイベント・講座・高齢者福祉サービスなどの情報を広報いずみやホームページ・いずみメールで人権に関することや男女共同参画について視点に合った適切な表現であるか文言に注意し、作成発信を行った。	2	2	2	2	2	福祉サービスや社会資源を市民が活用できるように引き続き、広報や市のホームページに掲載する。福祉サービスのパンフレットやちらしを作成し情報提供する。	2	高齢介護室

No	事業
25	地域活動において、男女共同参画社会の理解を深めるための出前講座等の内容の充実と広報の強化を図ります。 ◆出前講座での広報の工夫 ◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
窓口やホームページ等において、出前講座の募集を行った。 平成30年度出前講座件数 88件	2	3	2	2	2	今後も引き続き、出前講座の周知に努める。	2	生涯学習課
平成30年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体 ①ローズウッダー「パパママ、家庭でできるフランス料理に初挑戦！第3弾」 ②モア21「白みそ作り体験」「わくわく科学実験」 ③いずみヒューマンネット「男性のための」土鍋とフライパンを使った自己完結型料理」 ④NPO法人和泉100人委員会「ちゃんと学ぼう♪自分のための「性」講座」(中学生)」「ちゃんと学ぼう♪わたしと子どものための「性」講座」(一般)～自分を大切に、相手のことも大切にするために～」 ⑤ガールスカウト大阪府連盟104団「真夏の大茶会 老若男女 everybody welcome!(初心者向け)」 ⑥まごころ「絆」「和泉の土から出たものは？～親子で学ぶ古代焼物の里 和泉～」 ⑦子育てを応援する助産師の会「いずみどわいふ」「日曜日の両親(沐浴体験編)」 ⑧ONE STEP「ONE STEP劇「二度目の青春」製作・上演」	1	3	1	1	1	目標値を達成することができなかったが、応募団体数は平成29年度に比べ増加した。 各団体は、男女共同参画の視点を持って実施することができた。助成金制度については、引き続き積極的に周知を行い、目標達成に努める	2	人権・男女参画室

No	事業
26	男女共同参画社会づくりのために啓発冊子を定期的に発行します。 ◆啓発冊子作成業務

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ やや進んだ 取組維持 進捗なかった	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
男女共同参画社会に向けての関心や理解を図る内容・イラストのもので、 固定的な性別役割にとらわれないメッセージを込めた「男女共同参画啓発カレンダー（2019年版）」を作成し、平成31年1月号広報いずみにて全戸配布を行い啓発を行った。（全戸配布部数） 73,000部	1	3	2	1	1	男女共同参画の基本的な認識と理解を深めるために必要な啓発内容を精査し、啓発カレンダーを作成することができた。全戸配布することにより、効率よく啓発することができた。令和元年度の啓発冊子作成についても、啓発内容については現在のニーズをふまえて作成する。	2	人権・男女参画室

No	事業
27	市民との協働のもと、男女共同参画社会づくりの認識と理解を深めるための啓発イベントを定期的に開催します。 ◆「女と男のフォーラム」「男女共同参画週間事業ミニフォーラム」の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施に当たり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施に当たり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進捗なかった	(1)	(2)	(3)		1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	
①女と男のフォーラム 開催日：平成30年10月13日(土) 内容：一人ひとりの個性があって、ええねんで！ 性的マイノリティの人権問題を一緒に考えましょう 講師：はるな愛さん 参加人数：380人/660人定員	1	3	1	1	1	引き続き、和泉市男女共同参画推進市民実行委員会及びモアいずみ登録団体と協働のもと、啓発活動に取り組む。	2	人権・男女参画室
②男女共同参画週間事業(ミニフォーラム) 開催日：平成30年6月16日(土) 内容：映画「オケ老人！」上映 参加人数：464人/600人定員								

施策⑨ 市職員の男女平等・男女共同参画意識の向上

No	事業									
28	市職員や連携機関の職員等に対して男女共同参画に関する研修等を充実します。 ◆男女共同参画研修 ◆男女共同参画施策推進員の研修の実施 ◆留守家庭児童会指導員研修の実施									
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。										
実施状況（事業報告）		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課	
新規採用職員に対して、男女共同参画についての研修を実施した。 受講者がそれぞれの職務との関連性を考え、認識がより深まるよう、仕事に慣れた頃に研修時期を設定するよう改善した。 実施日：平成30年11月22日 研修内容：男女共同参画社会のメディアリテラシー 新規採用職員25人中 19人参加		2	3	1	1	1	仕事に慣れた時期に開催することで、職務との関連性を意識し、研修効果がより高まったと考える。	2	人事課	
平成30年度男女共同参画推進員研修会 ①テーマ：「LGBTと人権 ～多様な性について考える～」 平成30年8月6日開催 参加人数：27人/51人 ②テーマ：「男女共同参画社会のメディアリテラシー」 平成30年10月23日開催 参加人数：37人/51人		1	2	1	1	1	全員が受講できるよう、研修時期等に配慮を行ったが、当日急務等で参加率62.7%となった。引き続き研修時期の配慮を行う。 ①LGBT研修については人権職場推進員（課長補佐級）、人権擁護施策推進本部幹事（課長級）の職員も参加。（当日参加人数合計72人）②については新規採用職員も参加。（当日参加人数合計56人）	2	人権・男女参画室	
和泉市留守家庭児童会条例の主旨に基づき、児童の適切な遊び場及び生活の場を提供するため、年10回の支援員研修会を実施した。		2	3	3	1	1	指導員の資質向上のため、今後も引き続き研修を実施する。	2	生涯学習課	

No	事業
29	和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の取組を強化します。 ◆和泉市男女共同参画施策推進本部・幹事会の開催
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。	
実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度 【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった 事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1)(2)(3) 成果・課題・今後の対応 【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止 担当課
平成30年度和泉市男女共同参画施策推進本部会議 開催日：平成31年2月28日 案件： 1.オアシスプラン及びDV防止基本計画に係る平成29年度推進状況の報告について 2.第3期和泉市男女共同参画行動計画見直しスケジュールについて 3.和泉市審議会等への女性委員登用促進要綱について	1 1 1 1 1 第3期オアシスプランの今後の進行管理等について、意思統一を図ることができた。また、報告書については、広く市民に周知することを目的に、ホームページに掲載を行った。 附属機関等における女性委員の登用促進を図るため、平成31年4月から事前協議を行う時期を6か月前からとした。また、登用率が低い附属機関に対しては事前にヒアリングを行うこととし、登用率向上に向け意思統一を図った。 1 人権・男女参画室

施策⑩ 性に捉われない人権の尊重

No	事業
30	男女の性差についての正しい知識の周知を図るとともに、性的マイノリティへの理解を深めるための啓発を推進します。 ◆モアいずみ通信の発行・図書コーナー等で人権啓発ビデオの貸し出し。 ◆性的マイノリティへの理解を深めるための取組みを推進

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・モアいずみ通信9月号にて、性的マイノリティの理解を深めるための記事を掲載した。 ・和泉市男女共同参画推進市民実行委員会と共同で企画・運営を協働で行い、「女と男のフォーラム」を開催し、性的マイノリティの人権問題の理解を深めるための啓発を行った。 タイトル：一人ひとりの個性があって、ええねんで！ 性的マイノリティの人権問題を一緒に考えましょう 開催日：平成30年10月13日(土) 参加人数：380人/定員：660人	1	3	1	1	1	引き続き、モアいずみ通信に関連記事を掲載し、本市ホームページで相談窓口の周知を行い、情報提供につとめる。	2	人権・男女参画室
性的マイノリティについて、管理職及び担当者を対象とした研修(2月21日)を行った。 ○テーマ「子どもが安心して過ごせる教育現場のために～セクシュアル・マイノリティとされる子どもへの配慮について～」 ○講師 田中一歩さん 近藤孝子さん(にじいろi-Ru) ○参加人数 49人	1	1	1	1	1	継続して啓発し、性的マイノリティの子どもが過ごしやすい学校環境を整備する。	2	教育委員会指導室

施策⑪ 男女共同参画にかかる資料等の充実と積極的提供

No	事業
31	男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を継続的に実施します。 ◆男女共同参画に関する市民意識調査(10年に1回)

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
男女平等・男女共同参画施策の進捗状況を知り、施策の見直しをするための男女共同参画に関する調査を実施(10年に1回)し、次期行動計画策定の基礎資料とする。 ※次期は、令和5年度に実施予定のため、平成30年度は実施していない。	4	4	3	3	3		2	人権・男女参画室

No	事業
32	男女別統計の必要性の啓発を進め、様々な男女別統計を作成します。 ◆統計いずみにおける男女別データの公表 ◆いずみデータブックの作成

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
統計いずみ等を通じ、女性の現状を表する資料として、統計調査の男女別集計結果の公表した。 7件(人口、国勢調査、経済センサス、農林業、工業、教育、行財政)	1	3	1	1	1	統計いずみ等を通じ、女性の現状を表する資料として、男女共同参画の視点に立って統計調査の男女別集計結果の公表することができた。引き続き、取り組んでいく。	2	総務管財室
結婚と出生(出生数推移等)、政策・方針決定(審議会等の女性委員割合推移等)、教育(男女別学校種類別進学率の推移等)、労働(男女の賃金格差推移等)、女性に対する暴力(配偶者間における犯罪件数等)、国際比較(GII(ジェンダー不平等指数等)を集約した「いずみデータブック2019版」を作成した。	1	3	2	1	1	男女共同参画にかかるデータを収集し、本市における施策の進行管理に活かす。	2	人権・男女参画室

No	事業
33	男女共同参画に関する図書や資料の収集と提供を充実します。 ◆男女共同参画に関する資料収集 ◆男女共同参画に関する資料提供 ◆図書コーナーにおける男女共同参画に関する資料の収集

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーを充実させるため、男女共同参画に関する資料を購入した。 「トランスジェンダーと職場環境ハンド」他、計40点	2	3	1	1	1	29年度に目標を上回る点数の資料が購入できなかった反省から、指定管理者と調整し、今年度は目標を達成できるよう努めた。	2	読書振興課
シティプラザ図書館の男女共同参画コーナーの棚において、本の表紙を見せて展示するなど、手にとってもらいやすいように工夫した。	2	3	2	1	1	図書の貸出点数が全体的に減少する中、男女参画コーナーの図書については前年度より貸出点数が増加した。今後も魅力ある新たな資料を購入し興味を持ってもらえるよう展示の仕方や企画の工夫を検討していく。	2	読書振興課
モアいずみ(男女共同参画センター)の図書コーナーにおける図書や資料の収集と提供を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、収集と提供に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策の方向(5)人権尊重、男女平等に立ったメディアの確立

施策⑫ 市の刊行物等の表現の配慮

No	事業
34	市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等は、内閣府男女共同参画局発行の「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」に基づいて、男女共同参画の視点を入れ、制作します。 ◆市政情報発信事業 ◆掲示適正な表現であるかの確認 ◆庁内の掲示ポスター、広報紙、ホームページ等を男女共同参画の視点で点検 ◆広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等の作成 ◆発信する刊行物等を男女共同参画の視点で製作・点検 ◆広報・ホームページ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 進捗維持 4. 進捗がなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
男女共同参画を視野(デザイン色に関して、男の子は青、女の子は赤などと決め付けず、男女とも共有色である緑色や黄色などの配色に心がけやイラストを使う際、お母さんが赤ちゃんを抱っこしているのではなくお父さんが抱っこしているイラストや女性が料理するイラストではなく男性が料理をするイラストを用いるなど)に入れ、広報いずみやホームページ・Twitter・Facebook・いずみメールを制作した。	1	2	1	1	1		2	いずみアピール課
庁内において掲示依頼のあるポスター・チラシ等について、本施策の視点に立って適正な表現であるかを見極めることができた。	1	3	1	1	1	庁内において掲示依頼のあるポスター・チラシ等について、本施策の視点に立って適正な表現であるかを見極めることができた。引き続き、男女共同参画の視点をしっかりと取り組んでいく。	2	総務管財室
男女共同参画に視点からの公的広報の手引きに基づいて、市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシ、ホームページを随時点検し、男女共同参画の視点の欠けたものを発見した場合は、速やかに担当課と協議し、改善の要望を行った。	1	3	2	1	1	市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシの作成について、引き続き男女共同参画の視点について周知を行っていくと共に、市が作成する広報紙、刊行物、ポスター、チラシを随時点検する。	2	人権・男女参画室
広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等を作成する場合には、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引」を参考にし配慮した。	2	3	2	2	2	男女共同参画の視点をもちながら、広報紙、刊行物、ポスター、チラシ等を作成することができた。今後も引き続き視点をもちながら取り組んでいく。	2	こども未来室
指導室で作成する刊行物、冊子等の内容や表現について男女共同参画の視点で製作・点検した。	1	2	1	1	1	引き続き、男女共同参画の視点について配慮する。	2	教育委員会指導室
高齢介護室の多様な福祉サービスや教室、相談窓口を広報やホームページ等で周知する。	2	3	2	2	2	利用できる福祉サービスや地域の社会資源を高齢者が活用できるように、広報・いずみメール等で情報提供する。	2	高齢介護室

施策⑬ メディア・リテラシーの向上

No	事業
35	メディア・リテラシーの向上のための学習機会を提供します。 ◆学校における「情報モラル教育」の実施 ◆メディア・リテラシーに関する資料展示 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進歩なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
ICTコンピュータネットワークの整備に伴い、インターネットのフィルタリングについての研修をはじめ、情報モラル教育について、資料や研修講師などの情報を各学校に提供し、各校での子ども対象の学習会を推進させた。	1	2	1	1	1	スマホやケータイの子どもたちへの普及が急速に進み、ネットトラブルについての学習をする機会を、小学校低学年向けにも拡充した。今後もさらに学習機会の拡充を進める。	1	教育委員会指導室
シティプラザ図書館において、女性に対する暴力をなくす運動期間（11月12日から25日）に伴い、人権尊重の視点で情報を読み解き、活用する能力を養えるよう、DV防止関連図書のコーナーを設置した。	2	3	2	2	2	図書館の利用者に「女性に対する暴力」について考えたり情報を得る機会を持つてもらえるようコーナーの設置に取り組んだ。	2	読書振興課
例年実施している「男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座」のなかで、メディア・リテラシーの講座を開催。 タイトル：今どきのメディアの見方 開催日：11月15日（木） 受講生：17人/定員：30人	1	3	1	1	1	今後も引き続き、講座を実施し、メディア・リテラシーの向上を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業
36	性的感情、暴力性を助長するような有害図書・ビデオ及び喫煙・飲酒・薬物乱用等悪影響を及ぼすことについて大阪府と連携し、環境の改善を図ります。 ◆全小学校区での定期的な巡回パトロールの実施 ◆「青少年の非行・被害防止に取り組む全国強化月間」の取組

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進歩なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
青少年指導員協議会に対し、校区ごとに巡回パトロールの強化を依頼した。	2	3	2	2	2	今後も引き続き、事業を実施する。	2	生涯学習課
毎年7月の青少年の非行・被害防止全国強化月間にあわせ、青少年を非行から守る市民大会を開催し、啓発に取り組んだ（参加者数110人）。6月に街宣車で市内全校区を巡回し、青少年の非行・被害防止全国強化月間等について啓発を行った。	2	3	2	2	2	青少年の非行防止のため、今後も引き続き事業を行う。	2	生涯学習課

基本目標Ⅱ 男女平等の参加・参画で社会を活性化する 施策の方向 6 意思決定の場への女性の参画の推進

施策⑭ ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方

No	事業
37	市民・事業者・行政等のあらゆる分野にポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方を導入し、男女共同参画を推進します。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の周知 ◆ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方についての啓発 ◆町会等への働きかけ ◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		進んだ	やや進んだ	現状維持				
		(1)	(2)	(3)				
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。 管理的地位にある職員数 182名（うち女性32名）	1	2	1	1	1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績（31名）を上回った。	2	人事課
6月1日に和泉中央駅及び和泉府中駅にて、就職差別キャンペーンの一環として啓発物を配布し、女性を含む就職差別の撤廃啓発を実施。 また、加入事業所に対し職場内での男女共同参画推進のほか、各種啓発講座への参加を促した。	2	3	2	1	1	女性活躍推進法や男女雇用機会均等法等について、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室
・市ホームページにて「ポジティブ・アクション」について掲載を行い女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発した。 ・広報いずみ平成30年4月号にて「ポジティブ・アクション」について掲載し、周知を図った。 ・庁内においては、審議会等委員選考前の各部署との「事前協議」にてポジティブ・アクションの考え方について推進強化を行った。	1	2	1	1	1	引き続き、あらゆる分野にポジティブ・アクション（積極的改善措置）の考え方を導入することの重要性について啓発していく。	2	人権・男女参画室
（平成30年度） 町会連合会に属する町会長 200人（うち女性 20人 男性180人）	2	2	2	2	2	校区会長会議等を通じ男女共同参画を啓発していく。	2	公民協働推進室
社会教育団体等、各種団体の委員又は役員の選出にあたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な女性の登用にに向けた説明を行った。 【役員人数】 和泉市PTA協議会（女性9人、男性27人）計36人 和泉市青少年指導員協議会（女性0人、男性27人）計27人 和泉市こども会育成連絡協議会（女性3人、男性13人）計16人 和泉市文化協会（女性22人、男性21人）計43人	2	3	2	2	2	今後も引き続き、各種団体に積極的な女性登用を啓発する。	2	生涯学習課

施策⑮ 審議会等への女性の参画の推進

No	事業
38	市の審議会等の附属機関や行政委員会等の女性委員の比率を、平成36(2024)年までのできるだけ早い時期に40%の達成をめざします。 ◆女性委員の参画率

- 【今年度の事業の実施度】

 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
①女性委員の登用についての庁内周知 平成30年4月に全庁に向け、女性委員の登用について通知を行った。(通知回数1回) ②事前協議の強化 和泉市審議会等への女性委員登用促進要綱について、事前協議を6か月前に行うよう期限を設け、一部改正を行うことにより、事前協議の強化を図った。(平成31年4月から実施) ③政策企画室と連携し、包括連携協定を締結する大学への審議会等の委員委嘱手続きにおける「連携・交流申込書」に女性委員の登用について追記を行い、女性委員の登用促進を行った。	1	3	1 1 1	引き続き、関係各課(室)へ働きかけを行い、目標を達成するよう協議強化に努める。来年度は、女性委員の参画率が低い附属機関に対して、事前に個別ヒアリングを実施していく。	1	人権・男女参画室

No	事業
39	女性委員がいない審議会等に対しては、『0から1』への働きかけを行い、女性委員のいない審議会等の解消をめざします。 ◆事前協議の強化

- 【今年度の事業の実施度】

 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
女性委員0人の審議会等は6件あった。事前協議の強化及び個別ヒアリングを実施し、次期の委員改選時には、委員選定時の基準の見直し等改善を促し、女性委員0人の解消をめざす。	1	4	1 1 1	来年度より女性委員の登用率が低い附属機関から計画的に個別ヒアリングを実施し、目標を達成するよう努める。	1	人権・男女参画室

No	事業
40	意思決定過程への女性の参画を推進するため、審議会等における委員の選出方法の見直しを進めます。 ◆先行市の取組研究

- 【今年度の事業の実施度】

 1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
 2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
 3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
 4. 実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
 - (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
 - (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
 - (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
政策企画室と連携し、包括連携協定を締結する大学(桃山学院大学・大阪市立大学)への審議会等の委員委嘱手続きにおける「連携・交流申込書」に女性委員の登用について追記を行い、女性委員の登用促進を行った。	1	1	1 1 1	昨年度は、桃山学院大学との連携強化に努めたが、政策企画室と連携することにより、大阪市立大学においても女性委員の登用促進強化を行うことができた。	2	人権・男女参画室

No	事業
41	審議会委員等の委員の改選時は、男女共同参画所管部長との事前協議を行います。 ◆事前協議

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.取組維持	4.進捗なかった			
審議会等の委員改選時には、事前協議にて女性委員の参画率40%をめざし協議を行った。 委員選出依頼文に、市の職員を選定する際の基準についての見直し、女性委員登用の主旨の記載をするよう依頼、また、充て職等委員構成の見直し依頼などを行った。 平成30年4月1日現在 登用率29.8%	2	3	2	1	1	和泉市審議会等への女性委員登用促進要綱について、事前協議を6か月前に行うよう期限を設け、一部改正を行うことにより、事前協議の強化を図った。(平成31年4月から実施)	1	人権・男女参画室

No	事業
42	女性が政治や政策・方針決定の場への参加・参画することの重要性について、市民に啓発します。 ◆市民啓発

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.取組維持	4.進捗なかった			
和泉市男女共同参画推進市民実行委員会議及びネットワーク会議において、女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発し、公募市民委員の応募促進を図った。 モアいずみ通信(平成31年3月発行)及び広報いずみ平成30年4月号及び平成31年1月号にて意思決定の場への女性の参画推進について市民に啓発を行った。	2	3	1	1	1	引き続き、意思決定の場への女性の参画推進について啓発を行う。	2	人権・男女参画室

施策⑯ 女性職員・女性教員の管理職への登用

No	事業
43	女性職員・教員の職務内容の見直しと職域の拡大を図ります。 ◆女性職員の職務内容の見直しと職域の拡大 ◆残業の見直し、サポート体制の整備 ◆人材育成、管理職候補者の育成についてヒアリングを行う。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ	2.やや進んだ	3.取組維持	4.進捗なかった			
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。 管理的地位にある職員数 182名(うち女性32名)	1	3	1	1	1	OJT研修やマニュアル作成研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図ったほか、時間外勤務については昨年度に比べて削減に成功した。	2	人事課

長時間労働の是正など、仕事と家庭生活を両立しやすい職場づくりを進めるため、OJT研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図った。 時間外勤務が多い部課の状況を定期的に確認し、削減に向けた働きかけを行った。 ・OJT研修(職階別研修) 対象 主任昇格対象者 参加人数 35人(男性15人 女性20人)	2	3	1	1	1	OJT研修等を活用して、職場における業務の効率化に対する意識の高揚を図ったほか、時間外勤務については昨年度と同程度の削減に成功した。	2	人事課
各校園において、女性教職員が校務の中心となり、積極的に学校運営等に参画できる組織作りと人材育成について取組むよう校園長会等で指示した。 また、ヒアリングを通して女性管理職候補者の掘り起こしと育成について状況を確認し、必要に応じて指導・助言を行った。	2	3	1	2	3	特に教頭職においては女性が増えつつある。 女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルのイメージをつませる。 そのため引き続き女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。	2	教育委員会指導室

No	事業
44	女性職員・教員及び管理職に対する研修(教育訓練)を充実します。 ◆女性リーダー養成のための研修 ◆係長級昇任試験の受験者数向上 ◆学校におけるミドルリーダー研修の実施

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

- 1.している 2.部分的にしている 3.していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.廃止 5.中止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
女性職員にリーダーとしての力を身に付けてもらうべく、女性職員研修や階層別研修に参加を促し、女性職員の意識改革やリーダーを育てる力の向上を図った。 ①テーマ:女性活躍推進を行うことを目的に、女性職員自身ではなく、働く職場環境に焦点を当て、女性職員の昇進意欲や組織貢献意欲の向上を組織全体として支援する体制づくりについて学ぶ。 対象:管理職(各市5人ずつ) 参加人数5人(男性4人・女性1人) ※近隣市と共催で開催(隔年開催のため、次回は2021年度を予定)。 ②テーマ:組織マネジメントと後継者の育成について学ぶ。 対象:部長級・次長級(54人(男性47人・女性7人) 参加人数:50人(男性43・女性7人)) ③テーマ:仕事を効率的に行うために、上司や部下とのよりよい関係を構築し、組織におけるチーム力を向上させる。 対象:新任係長級(25人(男性18人・女性7人) 参加人数:19人(男性14人・女性5人)) ④テーマ:結果を出す組織を作るために、コミュニケーション力でリーダーシップを発揮し、また後輩育成に必要なOJT指導スキルを学ぶ。 対象:主任昇格対象者(42人(男性17人・女性25人) 参加人数:35人(男性15人・女性20人)) ⑤テーマ: 対象:係長級(105人(男性77人・女性28人) 参加人数:83人(男性60人・女性23人))	2	3	1	1	1	女性活躍研修について、例年とは違った視点(女性職員本人ではなく、職場環境に焦点を当てた)で開催できた。	2	人事課
係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、受験ハードルを下げるために、試験内容に即したe-ラーニング(地方自治法・地方公務員法)の貸出を行った。 平成30年度対象者 187名(うち女性職員 115名) 受験者 65名(うち女性職員 18名) 受験率 34.8%(うち女性職員 15.7%)	2	2	1	1	1	係長級昇任後の職務にやりがいを持てるように説明会を開催するとともに、受験ハードルを下げるために、試験内容に即したe-ラーニング(地方自治法・地方公務員法)の貸出を行った。	2	人事課
女性教員の管理職選考の受験者を増やすため、校園長会や学校訪問時に呼びかけを行った。 ミドルリーダー育成のための研修会をもった。 H30年度 ミドルリーダー研修 ・日時 平成30年10月30日(第1回) ・参加人数 12人(内女性6名) ・内容 「ミドルリーダーに求められること」等	2	3	2	2	2	本研修について、各校園の校内研修や修学旅行等の学校行事と重なりにくい10月後半に設定し、参加しやすいような配慮を行った。今後、女性教職員の参加率の向上に向け、ミドルリーダーとしての自覚を育てよう校長会等で周知する。	2	教育委員会指導室

No	事業											
45	管理職への女性職員・教員の登用比率を高めるため、数値目標を掲げ、その達成をめざします。 ◆女性職員の管理職登用 ◆女性教職員の管理職任用を積極的推進											
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。					【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。							
実施状況(事業報告)					今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行うとともに、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案した。 管理的地位にある職員数 182名(うち女性32名)					1	2	1	1	1	研修、人事評価、上司によるOJT等を通じた女性職員の職域拡大に向けた育成を行い、多様な職務経験を付与すべく、人事異動において勘案することにより、前年度実績(31名)を上回った。	2	人事課
和泉市立学校教職員人事基本方針の中に「女性教職員の管理職任用を積極的に推進する」と明記していることをふまえて、校長会等において積極的に働きかけを行い推進を図った。 また、学校訪問時に女性教員の積極的な学校運営への参加を促し、管理職への意識づけを行うことを指示した。 教育長による校長面談に、OJTや「教職員の評価・育成システム」等を活用して女性教員の計画的な育成を示した。 H30年度 校長(小:3名 中:1名) 教頭(小:5名 中:1名)					2	3	1	2	2	女性の管理職が増えるよう、キャリアモデルのイメージをつませる。 そのため引き続き女性の分掌長や教頭、校長のライフプランを発信していく。	2	教育委員会指導室

施策⑪ 事業所や地域における意思決定の場への女性の参画促進

No		事 業									
46		事業者等に対し、女性の活力があつてこそその経済成長であるとの認識に立って、ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の導入等、女性の採用・管理職の登用の重要性について啓発します。 ◆ポジティブ・アクション(積極的改善措置)の周知 ◆事業者への積極的な情報提供									
		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。					【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。				
実施状況(事業報告)		今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課		
加入事業所に対し職場内での男女共同参画推進のほか、各種啓発講座への参加を促した。		2	3	2	1	1	ポジティブ・アクションの導入等について、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室		
・事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と連携し、双方から情報を発信した。 ・広報いずみ平成30年4月号にて「ポジティブ・アクション」について掲載し、周知を図った。 ・市ホームページにて「ポジティブ・アクション」について掲載し、女性が政策方針決定の場への参画することの重要性を啓発した。		1	3	1	1	1	引き続き情報収集に努める。連携しながら発信する。	2	人権・男女参画室		

No	事業
47	地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発します。 ◆町会等への働きかけ(Ⅱ-6-14-37再掲) ◆老人クラブ連合会への働きかけ ◆地域の各種団体の長等を選出する際において、女性役員の登用を積極的に行うよう啓発する。

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組開始 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
(平成30年度) 町会連合会に属する町会長 200人(うち女性 20人 男性180人)	2	2	2	2	2	校区会長会議等を通じ男女共同参画を啓発していく。	2	公民協働推進室
老人クラブの若手会員を対象とする、高齢者の健康等生きがいづくりを推進するリーダーを育成を目的とするシニアクラブ大阪健康づくり大学校講座に参加した。 男性1名、女性1名 H30年度老人クラブ連合会役員数：男性29名、女性4名、計33名	2	2	1	2	2	引き続き啓発及び研修の機会を提供していく。	2	高齢介護室
社会教育団体等、各種団体の委員又は役員の選出にあたっては、オアシスプランの意図を説明し、積極的な女性の登用にに向けた説明を行った。(再掲Ⅱ-6-14-37) 【役員人数】 和泉市PTA協議会(女性9人、男性27人)計36人 和泉市青少年指導員協議会(女性0人、男性27人)計27人 和泉市子ども会育成連絡協議会(女性3人、男性13人)計16人 和泉市文化協会(女性22人、男性21人)計43人	2	3	2	2	2	今後も引き続き、各種団体に積極的な女性登用を啓発する。	2	生涯学習課

施策⑱ 女性の人材育成

No	事業
48	行政や地域で活躍できるよう人材を育成します。 ◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組開始 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座を通じて、講座受講生のエンパワメントを図るため、平成30年度男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座を実施した。 (定員30人・申込人数17人・修了者数4人)	1	3	1	1	1	行政や地域で活躍できるよう人材育成を図る。	2	人権・男女参画室

No	事業														
49	女性のさらなるエンパワメントをめざす講座を実施します。 ◆モアいずみ(男女共同参画センター)で講座・講演会等の実施														
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。					【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。										
実施状況(事業報告)					今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課	
いきいきライフ講座 「ワタシを元気にするコーチング術」 ①タイトル:コミュニケーション力を豊かに! 開催日:平成30年6/19(火) 参加人数:27人(女性25人 男性2人)/30人定員 ②タイトル:「できたらいいな」を「～する」に変える 開催日:平成30年6/26(火) 参加人数:32人(女性29人 男性3人)/30人定員					1	3	1	1	1				活躍している方の生き方を学び、自分らしく生きることの素晴らしさに気づき、自分の生き方を深めていくことを目的に実施。男性の参加者もあった。引き続き、男女がともに参加・参画する必要性についての意識啓発に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業												
50	男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の修了生や男女共同参画センター登録団体が、地域活動で活躍している状況等を通して、女性リーダーを発掘し、審議会委員等として活躍してもらえるように働きかけます。 ◆審議会等の市民委員への応募の働きかけ												
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。													
【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。													
実施状況（事業報告）						今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進捗なかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
モアいずみ（和泉市男女共同参画センター）で開催されるネットワーク会議等で男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座修了生やモアいずみ（和泉市男女共同参画センター）登録団体に対し、随時審議会等の市民公募委員等に募集するよう働きかけを行った。						1	3	1	1	1	意思決定の場への参画推進についての意識醸成に努め、引き続き働きかけを行う。	2	人権・男女参画室

施策の方向（7） 男女共同参画で進める就労支援

施策⑩ 男女が共に働きやすい職場づくりのための支援

No	事業												
51	男女共同参画推進事業者等事業助成制度を利用した事業者の紹介をします。 ◆事業者の事例紹介												
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。													
実施状況（事業報告）					今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進捗なかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)		成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
商工会議所と連携し市内企業と市民を対象に、男女共同参画に関する研修会を開催。 9月27日(木) ハラスメントのない職場を！～そこが知りたい！パワハラ、セクハラ～ 参加人数：36人／定員：80人					1	3	1	1	1	引き続き、より多くの事業者が参加できる研修会の実施に努める。		2	人権・男女参画室

No	事業
52	市の「男女共同参画推進事業者等事業助成制度」や国の「両立支援等助成金」の周知を積極的に行います。本市の事業助成について、推進事業のための支援をします。 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
商工会議所と連携し市内企業と市民を対象に、男女共同参画に関する研修会を開催。（再掲Ⅱ-7-19-51） 9月27日（木） ハラスメントのない職場を！～そこが知りたい！パワハラ、セクハラ～ 参加人数：36人／定員：80人	1	3	1 1 1	引き続き、より多くの事業者が参加できる研修会の実施に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
53	男女雇用機会均等法や労働基準法、育児・介護休業法等、労働に関する法律や制度に関する情報の周知を図ります。 ◆法律や制度に関する情報の周知 ◆事業者への積極的な情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
毎月第1日曜日及び第2金曜日に社会保険労務士による労働相談を実施し、女性へのセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントを含むトラブルを、労使間での自主解決などを円滑に行えるよう助言するとともに、労働に関する様々な法律や制度に関する情報の周知に寄与。	2	3	1 1 1	セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメントを含む労使間トラブルをなくすため、労働に関する様々な法律や制度に関する情報を周知する。	2	商工労働室
事業者に対する国・府からの情報については、商工労働室と連携し、情報を発信した。 市ホームページでは、女性活躍「見える化」サイトの掲載や、大阪府女性活躍推進月間(9月)に加え、ワーク・ライフ・バランスについても掲載し、啓発を行った。 また、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、労働に関する法律や制度等の情報の周知を行った。	1	2	1 1 1	引き続き、情報収集に努め、収集した情報は積極的に発信する。	2	人権・男女参画室

No	事業
54	男女雇用機会均等法の定着を図る中で、企業・団体等においてセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止の研修の重要性を働きかけます。 ◆セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等防止研修会の実施 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組継続 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
加入事業所に対し、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等の研修会への参加を促した。 【研修会参加実績】 ①7月5日 1人 ②7月26日 1人 ③8月30日 1人 ④9月13日 2人 ⑤10月25日 1人 合計6人	2	3	1	1	1	加入事業所をはじめとする和泉市内の事業所に対し、どのような言動がセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント等に該当するのか情報提供するとともに、研修実施や相談窓口の設置を呼びかける。	2	商工労働室
人権・男女参画室及びモアいずみ(和泉市男女共同参画センター)でセクシュアル・ハラスメント等のDVDや書籍の貸出を行ったが、貸出件数は3件だった。	1	3	1	1	1	市ホームページで事業者向けの啓発ページを作成する等、積極的な啓発を実施できなかったため、来年度は啓発ページを作成し、情報提供に努める。	1	人権・男女参画室

No	事業
55	男女の均等な雇用の機会と待遇確保が実現されるよう「男女雇用機会均等月間」等の周知に努めます。 ◆「男女雇用機会均等月間」等の周知 ◆男女雇用機会均等月間」等についての周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組継続 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
公正採用選考や就職差別撤廃月間のリーフレット等を窓口に置き、男女雇用機会均等について周知を図った。和泉市企業人権協議会会員事業所にはリーフレットの送付や研修会等への参加を促した。	2	3	2	1	1	男女雇用機会均等法等について、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室
・商工労働室と連携し、情報提供する。 ・モアいずみの掲示板に男女雇用機会均等法等の情報を掲示し、周知を行った。	2	3	2	1	1	平成30年度はホームページに掲載できなかった。来年度は啓発ページを作成し周知に努める。	1	人権・男女参画室

No	事業
56	様ざまな媒体を通じて、仕事と育児・介護の両立支援制度や女性の管理職を増やすポジティブ・アクション(積極的改善措置)等、女性の就労継続のための情報を提供します。 ◆女性の就労継続のための情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.既成経路 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
【働く女性の応援講座】「おうちヨガ & アロマでココロとカラダのデトックス」 ①7/18 腰痛 すっきりヨガ ～骨盤調整で歪みを整えキレイに～ 参加人数13人/15人定員 ②7/25ヨガでシェイプアップ ～体幹、脚を引き締めキレイに 参加人数17人/15人定員 ③8/1リラックスアロマの香りで心地よい眠りへ 参加人数14人/15人定員 【再就職チャレンジ支援講座】 (1)「女性のための「お仕事」応援セミナー」(3回) ①11/27 103万・106万・130万の壁を知らう ～知らないと損する扶養・保険・税金の話～ 参加人数29人(女性29人男性0人)/20人定員 ②12/4 就活準備セミナー～お仕事探しのコツ～ 参加人数28人(女性28人男性0人)/20人定員 ③12/11好印象のプロデュースセミナー ～感じの良い人になるための笑顔力、会話力～ 参加人数20人(女性20人男性0人)/20人定員 (2)「女性の就職応援講座」 1/24 ～ブランクからの再スタート～ 参加人数7人(すべて女性)/20人定員	1	3	1 1 1	今後も引き続き、ハローワーク、商工労働室と連携し、情報提供や講座の実施に取り組み、再就職を支援する。	2	人権・男女参画室

施策⑩ 女性の就労支援

No	事業
57	出産等で離職した女性や起業等をめざす女性を支援するため、講座や能力開発のための講習等を実施します。 ◆若者支援セミナー・職業能力開発事業 ◆再就職チャレンジ支援講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.既成経路 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
若者支援セミナーの参加者125名のうち女性は101名。職業能力開発講習会の介護職員初任者研修講習会は参加者17名のうち女性は16名、工場作業における技能講習会は参加者35名のうち女性は4名。 また、ハローワーク泉大津、男女共同参画担当と連携し、「女性のためのお仕事応援セミナー」を実施。うち労働政策担当の「103万・106万・130万円の壁を知らう ～知らないと損する扶養・保険・税金の話～」には29名の女性が参加。	2	3	1 2 1	出産等で離職した女性が再就職等に繋がるような講習会を調査し、実施していく。	2	商工労働室
(1)「女性のための「お仕事」応援セミナー」(3回) ①11/27 103万・106万・130万の壁を知らう～知らないと損する扶養・保険・税金の話～ 参加人数29人(女性29人男性0人)/20人定員 ②12/4 就活準備セミナー～お仕事探しのコツ～ 参加人数28人(女性28人男性0人)/20人定員 ③12/11好印象のプロデュースセミナー～感じの良い人になるための笑顔力、会話力～ 参加人数20人(女性20人男性0人)/20人定員 (2)「女性の就職応援講座」 1/24 ～ブランクからの再スタート～ 参加人数7人(すべて女性)/20人定員	1	3	1 1 1	引き続き、女性の就労支援に取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業
58	和泉市無料職業紹介センターにおける女性に対する職業紹介や相談、情報提供を充実します。 ◆和泉市無料職業紹介センター事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ やや進んだ 現状維持 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
様々なニーズに対応した相談や職業紹介を行うことで、無料職業紹介センターからの紹介による就職者は103人うち女性は60人と目標値を上回ることができた。	2	3	1	2	1	性別に関わらず、その人に合った就職ができるよう情報提供や職業紹介等を行なう。	2	商工労働室

No	事業
59	ハローワークとの連携を図り、職業相談、紹介の情報提供を積極的に行います。 ◆就職情報フェア事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ やや進んだ 現状維持 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
ハローワーク等との共催で、就職情報フェアを9月と2月に開催。来場者220名うち面接者68名うち16名が就職し一定の成果を上げることが出来た。	2	3	2	1	1	ハローワークとの連携を図り、職業相談、求人情報提供を積極的に行うとともに、ハローワーク等と共催にて合同面接会を開催する。	2	商工労働室

No	事業
60	起業しようとしている市民に対して、セミナーや相談窓口の情報の周知を図ります。 ◆若者支援セミナー ◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施 ◆セミナーや相談窓口の情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
ビジネスパソコン講座やファイナンシャルプランナーによる保険や税金の知識等、起業に役立つセミナーを開催するとともに、起業に関するセミナー等の案内を窓口配架。 セミナー参加人数 125人(うち女性 101人)	2	3	2	2	1	起業に関するセミナー等の案内を窓口配架、情報提供を行うとともに、起業・就職に役立つセミナーを実施する。	2	商工労働室

年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催 ・平成30年4月1日から平成31年3月31日 相談等の総件数 446件 うち女性を含んだ件数72件	1	3	1	1	1	男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	商工労働室
モアいずみ(男女共同参画センター)で実施する再就職チャレンジ支援講座の受講生に対して、商工労働室のセミナーの情報を提供し、モアいずみが開催する再就職チャレンジ支援講座を商工労働室やハローワークへ情報提供を行った。	1	3	1	1	1	今後も引き続き、情報提供に取り組む。	2	人権・男女参画室

No	事業
61	自営業等に従事する市民を対象に相談・指導、場所の提供等の情報提供を行います。 ◆和泉市産業振興プラザ事業の情報提供・セミナーの実施(Ⅱ-7-20-60再掲) ◆女性就労のため相談・指導・情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと		成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)					
年間を通し、和泉市産業振興プラザにて自営業等に従事する市民に対し、販路開拓支援、支援事業等の紹介、補助金申請相談、技術相談、情報収集、その他相談等の実施、各種セミナーの開催 ・平成30年4月1日から平成31年3月31日相談等の総件数 446件 うち女性を含んだ件数72件	1	3	1	1	1		男女を問わず、自営業等に従事する市民に対し、だれでも相談できるように事業を行っており、今後も引き続き支援に努めていく。	2	商工労働室
農業に就労を希望する女性からの相談はなかった。	3	3	3	1	1		今年度は女性からの相談はなかったが、引き続き事業を継続していく。	2	農林課

No	事業
62	農業の重要な担い手として、農業女性の資質の向上を図るため、農業女性活動組織の育成・支援を行います。 ◆農業経営担い手育成事業 ◆和泉ファームステイ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

4.実施していない。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
事業案内のホームページに女性が作業している写真を掲載するなど、より女性が参加しやすいように配慮した。 和泉農業担い手塾参加者9名（男4・女5）	2	3	3	2	2	昨年度より女性参加者が増加した。次年度以降も、引き続き事業を行っていく。	2	農林課
ファームステイ参加者募集に関して、ホームページ等に女性が作業を行う様子の写真を使い、女性がより参加しやすいよう配慮した。 ファームステイ参加者数4名（男3・女1）	2	3	3	2	3	昨年度より女性参加者が増加した。次年度以降も、引き続き事業を行っていく。	2	農林課

No	事業											
63	高齢者に対する経済的自立に向けた就労の機会の拡大と、雇用の安定を企業等に働きかけます。 ◆求人開拓事業 ◆シルバー人材センター運営補助事業の実施											
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。												
【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男 女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。												
実施状況（事業報告）			今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
本事業については和泉商工会議所へ委託しており、高齢者を含む就職困難者向けの求人情報を収集し、就職に結びつけることが出来た。			2	3	2	2	2	高齢者向けの求人等、昨今のニーズにあった求人情報を収集していく。			2	商工労働室
補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。			2	2	2	2	2	引き続き、紹介の機会を増やす必要がある			2	高齢介護室

施策の方向（8） 男女共同参画で進める地域づくり

施策⑪ 性別・年齢に関わりなく、すべての人が担う地域活動のための支援

No	事業									
64	若者、働き盛り世代、定年を迎えた世代等が地域活動に参加するきっかけをつかめるよう、学習や交流の場の充実を図るとともに、情報提供を工夫します。 ◆和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業 ◆成人教室の内容の充実と情報提供の工夫									
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。										
【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。										
実施状況（事業報告）			今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
ボランティア団体やNPO法人といった市民活動団体が行う事業に対して、市民のみなさんが支援したいこれらの事業を行う団体を選択し、市へ届出をすることにより、その選択届出数に応じて市がその市民活動団体の実施する事業へ支援金を交付する。平成30年度は41団体。投票率14.3%			2	3	3	1	1	41団体に対して、投票率14.3%であった。今後も、男女問わず、施策決定に関与することができるように努めるとともに、より多くの市民のみなさまに投票してもらえるように努力する。	3	公民協働推進室
広報いずみやホームページでの紹介のみならず、各種講座開催の際に情報の提供を行った。			2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課

No	事業
65	男女が共に担う地域活動に関する支援制度の強化、充実を図ります。 ◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業 ◆男女共同参画推進事業(オアシス)助成金事業の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進歩なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
アイ・あいロビー教室 毎月第3土曜日開催 参加者176名 普通救命講習会 毎月第1日曜日開催 参加者91名 いずみの国の自然を学ぼう、桃大生と遊ぼう 平成30年8月4日開催 参加者38名 夏休み親子福祉体験講座 平成30年8月23日開催 参加者24名 ボランティア・市民活動交流サロン 平成30年7月17日参加者96名、平成31年3月11日参加者77名 ボランティア・市民活動入門講座 平成30年9月26日開催 参加者38名 ボランティア・市民活動フェスティバルイベント 平成30年11月17日開催、参加者1,200名	2	2	3	1	1	参加者が昨年度より減少している。参加者を得るため交流会等を実施し、今後も、男女参画社会の実現に寄与するための施策を実施する。	2	公民協働推進室
平成30年度男女共同参画推進事業(オアシス)助成金交付団体 ①ローズウッド「パパママ、家庭でできるフランス料理に初挑戦！第3弾」 ②モア21「白みそ作り体験」「わくわく科学実験」 ③いずみヒューマンネット「男性のための」土鍋とフライパンを使った自己完結型料理」 ④NPO法人和泉100人委員会「ちゃんと学ぼう！自分のための「性」講座」(中学生)「ちゃんと学ぼう！わたしと子どものための「性」講座」(一般)～自分を大切に、相手のことも大切にするために～」 ⑤ガールスカウト大阪府連盟104団「真夏の大会茶会 老若男女 everybody welcome!(初心者向け)」 ⑥まごころ「絆」和泉の土から出たものは？～親子で学ぶ古代焼物の里 和泉～」 ⑦子育てを応援する助産師の会「いずみどわいふ」「日曜日の両親(沐浴体験編)」 ⑧ONE STEP「ONE STEP劇「二度目の青春」製作・上演」	1	3	1	1	1	目標値を達成することができなかったが、昨年度に比べ応募団体は増加した。。ネットワーク会議等での事前説明を行う等、オアシス助成金事業についての理解の促進を図り、より多くの団体に申請できるよう細やかに説明を行い、申請団体数の増加に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
66	PTA、こども会、自治会、地域ボランティア等の活動に、男女が共に参加・参画できるよう啓発します。 ◆和泉ボランティア・市民活動センター、アイ・あいロビー 管理運営事業 ◆和泉市PTA協議会・こども会育成連絡協議会への情報提供 ◆和泉市地域福祉推進事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進歩なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
ボランティア登録数91人(女性56人・男性35人)平成31年3月31日現在。	2	2	3	1	1	平成31年3月31日現在、男女比率は38.5%となっており、今後も目標値に向け取り組む。	2	公民協働推進室
女と男のフォーラム等、イベント情報を積極的に情報提供した(再掲 I-4-8-24)	2	3	2	2	2	今後も引き続き、情報提供を行う。	2	生涯学習課

各地域の課題(児童の登下校時における安全確保の問題、カフェサロンの開催、こどもの居場所等)について話し合い、解決に向けて取り組みました。平成30年度は地域福祉活動計画策定における住民参加の場として、関係機関も参画したワークショップを開催しました。 【協議の場及びワークショップの開催実績】 校区名(開催実績・参加者数) 国府(2回・22名)、和気(4回・56名)、芦部(1回・8名)、黒鳥(4回・23名)、伯太(2回・48名)、池上(2回・32名)、横山(3回・77名)、南横山(2回・56名)、南松尾はつが野(6回・91名)、北松尾(6回・117名)、北池田(1回・14名)、南池田(2回・57名)、信太(3回・86名)、幸(4回・53名)、鶴山台南(2回・36名)、鶴山台北(3回・83名)、緑ヶ丘(10回・124名)、光明台南(4回・95名)、光明台北(3回・35名)、いぶき野(2回・45名)、青葉はつが野(4回・44名) 【協議の場で補助金を活用した事業】 校区名(内容) 国府(校区防災訓練の開催)、池上(カフェサロン事業充実のためのエプロン等の購入)、南池田(認知症サポーター要請講座の開催)、鶴山台南(ハートフルフェスタ2018の開催、豊中市社協視察研修会の実施)、鶴山台北(校区自主防災・防災会による啓発研修活動を通じた地域住民の交流促進)、緑ヶ丘(住民アンケート、屋内型声かけ訓練の実施)、光明台南(災害時の非常食の購入)、光明台北(「交流の輪」(趣味を同じくする仲良しクラブ)を主体とした文化祭(作品展)の開催)、青葉はつが野(認知症レベルアップ講座の開催)	3	3	3	2	2	目標としている全小学校区での開催ができた。引き続き、地域住民が地域課題を解決していく場の支援を行って行く。	2	福祉総務課
--	---	---	---	---	---	---	---	-------

施策② 男女共同参画の視点に立った防災体制の整備

No	事業
67	子育て中の家族、高齢者、障がいのある人、在住外国人等様ざまな人々のニーズの違いを反映した防災・災害復興対策を推進するために、自主防災組織や町会・自治会等に女性の参画を促進します。 ◆市民防災啓発事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
平成30年度20回開催(801人参加)	2	2	1	1	1	出前講座の内容については、避難所運営ゲームやクロスロードゲームを通じて防災においては男性だけではなく女性の視点も非常に重要であるということを盛り込んだものとしている。	2	公民協働推進室

No	事業
68	災害・復興時の自助・共助や地域コミュニティが、重要であるという観点に立った啓発を行います。 ◆市民防災啓発事業 ◆男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
平成30年度20回開催(801人参加) (再掲Ⅱ-8-22-67)	2	2	1	1	1	出前講座の内容については、近年の災害状況を踏まえ、「自助、共助、公助は7:2:1の割合であるとされている」など、自助と共助の重要性を盛り込んだものとしている。	2	公民協働推進室
①防災力UP講座 タイトル:「災害時のご飯づくり」 開催日:9/27 参加人数:20人/定員20人 ②男女共同参画社会アドバイザー養成講座 タイトル:今どきの防災 開催日:10/4 参加人数:23人/定員30人	1	3	1	1	1	引き続き、男女共同参画の視点を持った防災に関する講座を実施していく。	2	人権・男女参画室

No	事業
69	地域における防災リーダーとして、女性消防クラブ等の充実を図ります。 ◆和泉市女性消防クラブ連合会視察研修会 ◆和泉市ブロック別防災訓練 ◆市民防災育成事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(4)			
年度当初、視察研修を予定していたが、今年度、女性消防クラブ連合会創立20周年記念事業として、外部講師を招き、防災特別講演をクラブ員が受講し、防災意識の向上を図った。	1	1	1	1	1	女性消防クラブ員が高齢の方が多いので、安全管理面に気を使い対応したい。	2	消防予防課
平成30年11月4日（日）にブロック別防災訓練において、各ブロックにおいて、非常炊き出し訓練を行い地域住民に提供した。	1	1	1	1	1	女性消防クラブ員が高齢の方が多いので、安全管理面に気を使い対応したい。	2	消防予防課
地域防災リーダー養成講座の開催にあたり、女性参加を推進したことにより、防災リーダー認定予定者34名のうち、女性が11名（32.3%）を占めた。講座内においては、防災・減災施策を推進するうえにおいて、例えば、避難所運営の場面においてはその責任者の中に女性の参画が必要であることについて、過去の災害事例を踏まえて講義を行った。また、グループワーク時には、一つのテーブルに男女が混合するようにし、性別による気付きを共有できるような工夫を施した。	1	2	1	1	1	地域における防災・減災施策を推進するうえでは、女性の参画が欠かせない。このため、講座受講者における女性の割合を増やすために、一般的な広報を行うのみならず、女性消防クラブ員に働きかけを行うなど、女性の参画を積極的に推進した。今後においては新たなステップとして、災害時に地域で自主的に行動を起こしてもらえるように、既存の防災リーダー認定者と自主防災組織に対して働きかけを行う。	3	公民協働推進室

No	事業
70	男女共同参画の視点を取り入れた、防災計画や防災マニュアルの策定に努めます。 ◆地域防災計画事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった				成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		(1)	(2)	(3)	(4)			
国の災害基本計画や大阪府の防災計画が見直されたことを踏まえ、平成30年5月に防災会議を実施し、パブリックコメントを経て平成30年12月に防災計画を変更した。昨年の台風第21号においても本市において大きな被害が発生したことから、男女共同参画の視点を取り入れて時期改正できるよう調査・研究を行っている。	2	3	1	1	1	昨年の台風被害や災害対応を踏まえ、次期変更に向けて、男女共同参画の視点を取り入れて改正できるよう調査・研究を行っていく。	2	公民協働推進室

施策② 高齢者、障がい者、外国人等が安心して暮らせるまちづくり

No	事業
71	ひとり暮らしの高齢者に対し、生活支援をするとともに、社会的孤立を防ぎ、地域社会との交流を深めるための生きがいづくりを推進します。 ◆街かどデイハウス ◆ふれあい食事サービス助成事業 ◆老人クラブ活動補助事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進捗なかった	(1)	(2)	(3)	1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	
市内11ヶ所で任意団体・NPO法人が運営し、地域高齢者が集い、交流することで地域コミュニティの形成に寄与した。各施設にて介護予防・認知症予防の取組みを実施し、利用者の健康維持・増進を図ることができた。	2	3	2	2	2	利用者が高齢化しているが、双方が協力し、介護予防や引きこもり防止を図ることができた。	2 高齢介護室
地域の集会所等を利用して高齢者に対して食事サービスを提供するボランティア団体に、参加者一人一日当たり500円の助成金を交付し、市民の積極的な社会福祉活動を促し、高齢者の生きがい対策を推進した。 平成30年度においては、北松尾校区、緑ヶ丘校区、伯太校区において実施。延べ利用人数 963 人、延べ実施回数 33 回	2	3	3	2	2	団体数が減っているのが課題	2 高齢介護室
老人クラブ活動の活発化を図り高齢者福祉の増進につなげた。 社会福祉・地域福祉の増進を図るため助成を行った。 老人クラブがあることで高齢者同士の親睦や助け合い等地域での自立生活の励みとなった。 老人クラブ連合会の発展の励みとなった。	1	1	1	1	1	会員の増加をめざし、活動を活性化していく。	2 高齢介護室

No	事業
72	利用できる福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう、あらゆる機会を通じて市民に情報提供を行います。 ◆地域包括支援センターの実施 ◆和泉市障がい者基幹相談支援センター等での情報提供 ◆和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進捗なかった	(1)	(2)	(3)	1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	
4箇所の地域包括支援センターに対し、福祉サービスや地域の社会資源のネットワークを市民が活用できるよう地域包括支援センターの専門職や、基幹型の専門職に対して会議やヒアリングなどの場で相談・支援を行うことができた。 地域包括支援センター総合相談件数 4,403件	2	3	2	2	2	今後はもう少し時間をとった相談・支援体制の構築に取り組みたい	2 高齢介護室

利用できる福祉サービス、地域の社会資源制度の内容や事業所情報等について、基幹相談支援センター等において、情報提供を行った。 基幹相談支援センターと相談支援事業所3ヶ所における年間相談件数の合計は、4,944件(延べ件数)となっており、その支援内容は、福祉サービスの利用等に関する支援(延べ件数:2,083件)等となっている。	2	3	3	1	1	相談支援専門員向けに社会資源集を作成した。社会資源集を活用しながら、引き続き、利用できる福祉サービスや地域の社会資源についての情報提供を行う。	2	障がい福祉課
困っている方や困っている世帯の課題解決に向けて、必要な制度や社会資源に繋ぐネットワークづくりの為、具体的には、地域の方や他の専門機関の方と一緒に相談会を開催したり、CSWの活動紹介や意見交換会を実施したり日々、顔の見える関係作りに取り組んでいます。 市内の8事業所に相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。相談者数720名(男309名 女404名 不明7名)(平成31年3月末)相談者の性別について、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。	2	3	2	2	2	相談件数が増えるよう取り組んで行く。	2	福祉総務課

No	事業
73	高齢者、障がいのある人、子どもが安心して暮らせるよう、バリアフリーのまちづくりを推進します。 ◆市営住宅建替事業 ◆新規事業、改修時における公園施設(園路、トイレ等)のバリアフリー化 ◆交通安全施設整備事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
市営住宅建替事業により、市内6ヶ所(横山、松尾寺、春木、池上、伯太第二改造、唐国住宅)の木造住宅の集約建替が完了し、新たに95戸のバリアフリー住戸の整備ができた。	1	1	1	1	1	市内の木造住宅(6ヶ所)について、唐国住宅敷地に集約し建替する事業について(平成27年度～平成30年度)、計画どおり実施することができた。	2	建築住宅課
平成30年度はバリアフリー化事業なし	4	3	3	3	3		2	公園緑地課
誰もが安全に安心して通行できるよう、歩道のバリアフリー化工事(3路線)を実施。	2	1	3	3	2	平成29年度から歩道のバリアフリー化工事に着手し、全8路線のうち5路線が完了した。平成31年度に2路線、令和2年度に1路線で全ての特定経路のバリアフリー化が完了するため、来年度も引き続き事業を進めていく。	2	道路河川室

No	事業
74	日本語学習が外国人にとって地域社会で生きていくための基盤となるよう、教室活動そのものが日常生活における対等な人間関係や地域でのネットワークの構築につながっていくよう、「日本語サロン」(和泉市国際交流協会)と連携します。 ◆日本語サロン

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
外国人住民と地域住民とのネットワークづくりを目的とし、ボランティアが外国人住民の日本語学習サポートを行う日本語サロンを実施し、外国人住民に周知する。広報紙、市HPだけでなく、公共施設でチラシの配付を行った。	2	3	3 2 2	できるだけたくさんの外国人が受講できるよう、引続き日本語ボランティアの人材を確保していく。	2	人権・男女参画室

No	事業
75	内閣府「定住外国人施策ポータルサイト」等の情報提供を積極的に進めます。 ◆外国人情報コーナー(市ウェブページに掲載)

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・外国人市民が和泉市で生活するうえで必要となる情報を得られる「和泉市版生活ガイド」や、「内閣府 定住外国人施策ポータルサイト」等サイトへのリンクを掲載した、「外国人情報コーナー」を市HP内に設置し、多言語での情報提供を行った。 ・外国人市民の日本語学習をサポートする日本語サロンにおいて、行政・生活情報について適宜提供を行った。	2	2	3 2 2	今後も引き続き積極的な情報提供を行う。	2	人権・男女参画室

基本目標Ⅲ 自立を支えあうまちをつくる 施策の方向 9 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)実現のための支援

施策⑭ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)という考え方の推進

No	事業
76	市民や事業者に向けてワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の意義や働き方を見直す必要性等についての情報提供を行います。 ◆和泉市企業人権協議会等への情報提供 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆広報紙、ホームページ、モアイずみ通信での情報提供 ◆男女共同参画推進事業者等事業者助成制度の情報提供

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
和泉市企業人権協議会の会員事業所にワーク・ライフ・バランスについての情報提供や各種研修への参加を促すとともに、商工労働室の窓口にリーフレットを置き、来庁者に対しても周知を図った。	2	3	2 1 1	長時間労働の上限規制等、ワーク・ライフ・バランスについて、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室

例年実施している「男女共同参画社会づくりアドバイザー養成講座」のなかで、ワーク・ライフ・バランスに関わる講座を開催。 日時：11月15日(木)午前10時～正午 タイトル：今どきの働き方、暮らし方 参加人数：17人 / 定員30人	1	3	1	1	1	一般の市民に対する啓発だけではなく、企業等も含め啓発していく。	3	人権・男女参画室
市ホームページにてワーク・ライフ・バランスについて掲載を行い周知を図った。 平成30年9月号広報いずみ及びモアいずみ通信平成30年1月号にて、ワーク・ライフ・バランス及びおとう飯について掲載し、情報提供を行った。	1	2	1	1	1	引き続き、ワーク・ライフ・バランスの必要施や働き方を見直す必要性について啓発を行う。	2	人権・男女参画室
商工会議所と連携し市内企業と市民を対象に、男女共同参画に関する研修会を開催。 9月27日(木) ハラスメントのない職場を！～そこが知りたい！パワハラ、セクハラ～ 参加人数：36人 / 定員：80人	1	3	2	1	1	引き続き、より多くの事業者が参加できる研修会の実施に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
77	男性向けに働き方見直しセミナーを実施します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆男性学講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
子育て応援講座 ①「お父さんと一緒に作るヘルシー豆腐デザート」 開催日：12月1日(土) 参加人数：11組(25人)/定員：12組 ②「親子でDIY教室 ～お父さんと一緒に手作り家具を作ってみよう～ 開催日：3月21日(木) 参加人数：11組(23人)/定員：12組	1	3	1	1	1	引き続き、父親が参加しやすいよう、土日に実施する等の配慮に努め、ワーク・ライフ・バランスについての意識啓発に努める。	2	人権・男女参画室
男性学講座 ①初めてのメンズヨガ 開催日：平成31年3月9日(土) 参加人数(男性15人女性0人)/15人定員 ②初心者向けDIY教室 ～暮らしに役立つモノづくり～ 開催日：平成31年3月21日(木) 参加人数9人(男性5人 女性4人)/15人定員	1	3	1	1	1	引き続き、男性が仕事中心の生活から家庭・地域へ参画することの重要性を啓発していく。	2	人権・男女参画室

施策⑤ 男性も女性も、仕事と子育てや介護の両立ができる環境の整備

No	事業
78	次世代育成支援対策推進法に基づく、事業者としての行動計画策定を支援します。 ◆次世代育成支援対策推進法における事業所行動計画策定にかかる助言 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
平成27年3月に「和泉市こども・子育て応援プラン」が策定され、相談があれば受け入れる体制はとっていたが、相談はなかった。	2	3	2	2	2	今後引き続き相談体制の充実を図る。	2	こども未来室
事業者が行動計画を策定するにあたり問い合わせや相談があった場合は、こども未来室と連携し、情報提供に努める等の支援を行う体制をとっていたが、相談件数が0件であった。	3	3	2	1	1	引き続き、こども未来室と連携し、情報提供に努める等の支援を行う体制を維持する。	2	人権・男女参画室

No	事業
79	「和泉市こども・子育て応援プラン」に基づいて、妊娠・出産・子育て期における継続就業に向けた子育て支援の充実をめざします。 ◆一時預かり、障がい児保育、延長保育、休日保育、夜間保育、病後児保育事業 ◆親子（母子）健康手帳交付、乳幼児健康診査 ◆留守家庭児童会の充実

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
【H30実施箇所数】 一時預かり14か所、障がい児保育26か所、延長保育29か所、休日保育1か所、夜間保育1か所、病児保育事業1か所、病後児保育事業1か所、幼後児保育事業1か所 合計74か所	2	3	3	1	1	障がい児保育について、受入可能施設でも職員の配置次第で受入不可とならざるをえない場合がある。民間施設においても受け入れ態勢を可能な限り整えてもらうよう求めて行く。	2	こども未来室
親子（母子）健康手帳発行数1,283人。発行時、育児休業給付金や働きながら母親になる人向けのパンフレット配布。 4か月健康診査受診者数1,219人（受診率95.5%）、1歳6か月児健康診査受診者数1,332人（受診率96.6%）、3歳6か月児健康診査受診者数1,424人（受診率91.7%）。健診時、育児の協力状況などを確認し、必要時、保育園申請や育児支援サービスなどの情報提供を実施。	2	3	1	1	1	妊娠から、子育て期における育児の情報提供を行い、必要な対象には個別で相談対応や一緒に課題を考えて対応等を考えた。	2	健康づくり推進室
保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童に対して、適切な居場所を提供するため、市内19校に留守家庭児童会（仲よしクラブ）を設置し、保育環境の充実を図る。 【平成30年5月1日現在の在籍児童数】 1年生：690人、2年生：630人、3年生：384人、4年生：206人、5年生：96人、6年生：29人 計2,035人	2	3	3	1	1	現在、待機児童は発生していない。今後も待機児童ゼロを継続するため、教室の確保に努める。	2	生涯学習課

No	事業
80	事業者や男性労働者に対して、男性の育児・介護休業の取得促進に向け情報提供及び支援を行います。 ◆男性の育児・介護休業の取得促進に向けた情報提供 ◆男女共同参画推進事業者等事業助成制度の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ 2. やや進んだ 3. 取組維持 4. 進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
各種リーフレットを商工労働室前に配置することで周知を図った。	2	3	2	1	1	男性の育児・介護休業取得について理解を深めるため、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室
市ホームページにてワーク・ライフ・バランスの周知を行った。 「カエル！ジャパン」、「ポジティブ・アクション」「イクメンプロジェクト」「女性の活躍・両立支援」についても掲載しており、ワーク・ライフ・バランス実現のための情報提供を行った。 また、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、労働に関する法律や制度等の情報の周知を行った。	1	2	2	1	1	今後も情報を収集し、情報提供を行う。	2	人権・男女参画室

No	事業
81	男性が父親としての自覚を持ち、積極的に子育てに関われるよう、知識や技術を習得することを支援します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆半日保育参加の呼びかけ

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ 2. やや進んだ 3. 取組維持 4. 進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
子育て応援講座 ①「お父さんと一緒に作るヘルシー豆腐デザート」 開催日：12月1日(土) 参加人数：11組(25人)/定員：12組 ②「親子でDIY教室」 ～お父さんと一緒に手作り家具を作ってみよう～ 開催日：3月21日(木) 参加人数：11組(23人)/定員：12組	1	3	1	1	1	引き続き、父親が積極的に子育てに参画できるよう講座を実施する。	1	人権・男女参画室
半日保育参加への呼びかけを実施した。半日保育参加では、半日を保育士となって過ごしてもらうので、保育参加をとおして子育ての楽しさを体験してもらうことができた。 また、送迎時は、父親へも積極的に子どもの様子や子育てについての話をし、子育てを保育園と共有できるようにしている。	2	3	1	1	1	引き続き参加の呼びかけをする。また、参加しやすい雰囲気づくりをする。	2	こども未来室

No	事業
82	男性が、主体的に家族介護の担い手となれるよう、知識や技術を習得することを支援します。 ◆地域出張型在宅医療介護セミナー（H27年度まで 入退院支援家族教室）

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
計14回（4/22、5/19、5/29、6/9、6/16、6/27、7/19、7/28、8/17、9/12、9/15、11/28、1/26、2/9）開催。 内テーマは「介護保険について」6回、「病院の仕組みについて」2回、「かかりつけ医師について」3回、「訪問看護について」3回。 参加者は平成30年度では445名（男性112名、女性333名）。	2	2	1	1	1	周知方法を工夫したため、今年度は申込み回数の増加がみられた。今後もより多くの住民に聞いてもらい、「ご近所さん」同士で学ぶことによって、男女共同参画の視点を持ちながら地域の風土を形成していく必要がある。	2	高齢介護室

No	事業
83	特定事業主行動計画に基づき推進します。 ◆職員が子育てや介護しやすい勤務環境を整備する

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1. 進んだ 2. やや進んだ 3. 現状維持 4. 進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
男性職員も育児休業が取得可能であることやワークライフバランスの確保の必要性を周知し、取得しやすい環境づくりを行った。子育てをする女性職員が管理職になるにあたり、必要なマネジメント能力等を付与するための研修を実施した。 男性育児休業の取得者：0名 参考：平成30年度新規取得対象者 25名	2	3	1	1	1	男性の育児休業取得はなかったが、育児短時間および部分休業の取得者は1名あり。	2	人事課

施策の方向10 自立した暮らしのための支援

施策⑤ ひとり親家庭への支援

No	事業
84	ひとり親家庭が抱える、様々な悩みや問題を解消するための相談体制を充実します。 ◆母子・父子自立支援員による相談業務

- 【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1)(2)(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
ひとり親家庭の母や父及び離婚を考えている方の悩みや問題を解消するために、電話や来所による相談業務を行った。 H31.3月末現在 離婚前父相談2件 離婚後父相談11件(子の学費) 離婚前母相談75件(家庭内揉め事55件、経済的支援16件、住宅・母子寮3件、児童1件) 離婚後母相談251件(家庭内揉め事10件、就労・生活134件、児童6件、経済支援100件、母子寮1件)	2	3	111	(成果)相談者に寄り添いながら必要な場合は関係機関につなぐ事ができた。 (今後の対応)引き続き関係機関との連携をとり支援を行う。	2	こども未来室

No	事業
85	ひとり親家庭の経済的基盤を強化し自立できるように、母子家庭自立支援給付金(自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金等事業)の周知を図ります。 ◆ひとり親家庭自立支援給付金事業

- 【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1)(2)(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
ひとり親家庭の経済基盤を強化し自立できるように、母子家庭等自立支援給付金(自立支援教育訓練給付金事業、高等職業訓練促進給付金事業)の周知を図った。 自立支援教育訓練給付金の支給 高等職業訓練促進給付金の支給27名(全て母子) 高等職業訓練修了支援給付金の支給3名(全て母子)	2	3	111	(成果)相談業務において自立支援給付金制度の周知を図れた。 (今後の対応)今後も引き続き自立支援給付金制度の周知をしながら支援を行う。	2	こども未来室

No	事業
86	ハローワーク等と連携し、就労支援を行います。 ◆ひとり親家庭等就労支援事業

- 【今年度の事業の実施度】
1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4.実施していない。
- 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】
1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
(1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
(2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
(3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1)(2)(3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
母子父子自立支援員を配置し、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行った。 プログラム策定事業申込者 28件(全て母子) ケース会議参加 28件 策定事業による就職 20件	2	3	111	(成果)関係機関と連携をとりながら支援を行った。 (今後の対応)今後も引き続き関係機関と連携を図りながら自立に向けた就労支援を行う。	2	こども未来室

No	事業										
87	ひとり親家庭に支給される児童扶養手当や、ひとり親家庭に支援される医療費助成の周知を図ります。 ◆児童扶養手当支給事業、ひとり親家庭医療助成事業										
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。											
実施状況（事業報告）				今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
ホームページや広報にて周知を行うことができた。 児童扶養手当支給者数：延べ22,716人 ひとり親家庭医療費助成件数：延べ51,869件				2	3	2	2	2	広報いずみや市ホームページ等で周知を行った。引き続き、啓発を行い周知していく。	2	こども未来室

施策⑦ 困難を抱える人々が安心して生活できるための支援

No	事業											
88	高齢者や障がいのある人に対する、経済的自立に向けた就労の機会の拡大と雇用の安定について事業所に働きかけます。 ◆シルバー人材センター運営補助事業の実施 ◆福祉的就労に向けた訓練等の機会の提供											
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。												
実施状況（事業報告）			今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1)(2)(3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
補助金というかたちで間接的にシルバー人材センターの活動の支援を行った。また老人クラブなどの高齢者が集う集まりで、シルバー人材センターの紹介などを行った。			1	1	2	2	2	引き続き、紹介の機会を増やす必要がある			2	高齢介護室
就労継続支援(A型・B型)事業所、就労移行支援事業所への通所の支給決定を行った。また、相談内容に応じて、障害者就業・生活支援センター等を紹介した。 平成30年度末時点で、就労移行支援48名、就労継続支援A型84名、就労継続支援B型408名が利用中である。			2	3	3	1	1	今後も引き続き、法に基づいた支給決定を行う。			2	障がい福祉課

No	事業											
89	高齢者が要介護状態とならないよう、また、介護予防を図るために、自立した生活を確保するための生活支援サービスの充実を図ります。 ◆介護予防普及啓発事業											
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。 【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。												
実施状況（事業報告）				今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)		成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
1、体操の周知： ・「おたのしいいきいき体操」として単発の教室を3回実施。45人（男性3人、女性42人）の参加があった。 ・地域出張型介護予防教室：2ヶ所開催し、体操のPRを実施した。 2、活動団体の支援： ・活動団体へのフォローを療法士が27ヶ所、体力測定45箇所実施した。				1	3	1	1	1	男性にも参加しやすい教室づくりを心がけているが、女性の参加率が高い。 男性が中心になっている団体もあり、参考になっている。	2	高齢介護室	

No	事業	
90	支援を必要としている人々が適切に福祉サービス等を利用し、地域での生活が継続できるよう、情報提供や相談等の支援を進めます。 ◆和泉市高齢者福祉サービス ◆成年後見審判市長申立事業 ◆基幹相談支援センター事業の実施 ◆成年後見審判申立事業の実施 ◆日常生活自立支援事業の情報提供 ◆和泉市地域福祉総合相談員配置促進事業 ◆生活困窮者自立支援	

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】				事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 廃止 5. 廃止	担当課
		1. 進んだ	2. やや進んだ	3. 進捗確認	4. 進捗なかった	(1)	(2)	(3)			
紙おむつの給付・緊急通報装置の貸与・訪問理美容サービス・介護予防住まい改修・認知症高齢者安全確保事業・認知症高齢者家族やすらぎ支援事業を実施している。在宅を望む高齢者が安心して暮らせるように地域包括支援センターやその他の関係機関と連携し、情報提供している。高齢者一人ひとりにあった適切なサービスや介護者の負担を軽減するために紙おむつや福祉用具の給付や緊急通報装置の貸与を行っている。	2	3				2	2	2	広報やホームページ、出前講座やパンフレットなどを通じ高齢者福祉サービスの情報提供や相談等を行い、地域での生活が継続できるように支援する。	2	高齢介護室
65歳以上の一人暮らし又は高齢者世帯で調理が困難な方に対して月～金の夕食を週5回まで1食450円で配達し、食の提供をしている。対象者が疾患に合った食事内容を選択し、栄養バランスのとれた配食を行っている。配達時安否確認も兼ねており、独居や家族の方が安心して在宅で生活できるように努めている。（平成30年度配食人数185人）	2	3				2	2	2	支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域の中で安心して暮らし続けることができるように継続してサービスを実施する。	2	高齢介護室
利用者が地域で自立した生活を継続していくために、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の財産管理、法律行為の援助が必要な場合、市長が本人、配偶者、四親等内の親族に代わって家庭裁判所に成年後見審判の申立を行う。 市長申立件数：3件	2	3				3	1	1	成年後見制度の周知・啓発を地域包括支援センターと協働して実施。自身の意思を反映できない後見相当ではなく、保佐・補助相当から利用できるように、より周知啓発が必要。	2	高齢介護室
基幹相談支援センター事業及び相談支援事業等の実施により、障がい者等からの様々な相談に対応し、地域の相談支援体制を推進した。 基幹相談支援センターと相談支援事業所3ヶ所における年間相談件数の合計は、4,944件（延べ件数）となっており、その支援内容は、福祉サービスの利用等に関する支援（延べ件数：2,083件）等となっている。	2	3				3	1	1	今後も相談支援事業所等の質の向上に取り組む、障がい者のニーズに応じた適切なサービスを提供することで、障がいがあっても長く地域で生活ができるよう支援をする。	2	障がい福祉課
平成30年度は申し立て実績はありません。	2	3				3	1	1	基幹相談支援センターにおいて、特定相談支援事業所を対象に、成年後見制度についての研修会を実施した。今後も引き続き、成年後見制度の必要な人に、成年後見審判の申し立てにかかる支援を行う。	2	障がい福祉課

日常生活自立支援事業は、判断能力が不十分な方に対して、日常生活費の管理を行うことで日常生活上の消費契約や福祉サービスの利用援助、行政手続きに関する援助を行う事業であり、本事業について、市、基幹相談支援センター及び相談支援事業所から情報提供を行い、支援ができるようにつないだ。	2	3	3	1	1	今後も引き続き、社会福祉協議会へつなぎを行う。	2	障がい福祉課
困っている方や困っている世帯の課題解決に向けて、必要な制度や社会資源に繋ぐネットワークづくりの為、具体的には、地域の方や他の専門機関の方と一緒に相談会を開催したり、CSWの活動紹介や意見交換会を実施したり日々、顔の見える関係作りに取り組んでいます。市内の8事業所に相談員を配置し、年齢、障がいの有無に関わらず相談対応を行った。相談者数720名(男309名 女404名 不明7名)(平成31年3月末)相談者の性別について、相談受付の際に相談者の基礎情報として確認している。	2	2	2	2	2	相談件数が増えるよう取り組んで行く。	2	福祉総務課
生活困窮者が経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため自立支援計画を策定し本人の状態に応じた包括的なかつ継続的な相談支援を実施した。 相談件数422件(男222件、女185件、未確認15件) 自立支援計画策定件数72件 達成件数33件 (平成31年3月末時点)	2	2	1	1	1	自立支援計画策定件数は目標に達することができた。今後も制度周知の強化及び各課、関係機関と連携を強化していく。	2	福祉総務課

施策の方向11 生涯を通じた心身の健康づくりの支援

施策⑫ 生涯を通じた心身の健康保持・増進

No	事業
91	リプロダクティブ・ヘルス／ライツの考え方に基づいて健康・保健施策が進められるよう、啓発や情報提供を行います。 ◆両親教室(妊婦教室) ◆男女共同参画社会づくり講座の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関しての情報提供を行う。またグループワークや先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。 受講者数 延265人、夫受講者数 延57人	2	3	1	1	1	安心安全に妊娠・出産・育児に望めるよう、妊娠中から出産、育児について正しい情報提供を行い、母子の健全育成を図るため継続し実施していく。また家族にも情報提供を行い理解してもらうことで、家族で妊娠期から子育てを支援できるように実施していく。	2	健康づくり推進室
わたしのからだヘルスケア講座 ①タイトル:「知ってほしい乳がんの正しい知識」 開催日:3月14日 参加人数:16人 定員:20人 ②タイトル:「ココロとカラダをほぐす肩甲骨ヨガ!」 開催日:3月27日 参加人数:15人 定員:15人	1	3	1	1	1	引き続き、生涯を通じた女性の健康保持に関する講座を実施する。	2	人権・男女参画室

No	事業
92	リプロダクティブ・ヘルス／ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供します。 ◆両親教室（妊婦教室） ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆健康教育におけるリプロダクティブ・ヘルス／ライツの考え方の普及

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関しての情報提供を行う。またグループワークや 先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。 また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。 受講者数 延265人、夫受講者数 延57人 (再掲Ⅲ-11-28-91)	2	3	1	1	1	安心安全に妊娠・出産・育児に望めるよう、妊娠中から出産、育児について正しい情報提供を行い、母子の健全育成を図るため継続し実施していく。また家族にも情報提供を行い理解してもらうことで、家族で妊娠期から子育てを支援できるように実施していく。	2	健康づくり推進室
わたしのからだヘルスケア講座 ①タイトル:「知ってほしい乳がんの正しい知識」 開催日:3月14日 参加人数:16人 定員:20人 ②タイトル:「ココロとカラダをほぐす肩甲骨ヨガ!」 開催日:3月27日 参加人数:15人 定員:15人 (再掲Ⅲ-11-28-91)	1	3	1	1	1	引き続き、生涯を通じた女性の健康保持に関する講座を実施する。	2	人権・男女参画室
学習指導要領に基づき、児童生徒の発達段階に応じ、保健や総合的な学習の時間等でリプロダクティブヘルス／ライツの考え方に基づいた健康保持に関する学習機会を提供するよう指示した。	2	3	1	2	2	リプロダクティブヘルス／ライツの考え方について、教職員への研修を進めていく。	2	教育委員会指導室

No	事業
93	年代に応じた健康管理を支援するため、健康相談や健康診査・検診等の充実を図ります。 ◆各種検診（健診）、健康教育・相談事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】	担当課
		進んだ やや進んだ 取組維持 進まなかった	(1)	(2)	(3)		1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	
各種健康診査及びがん検診、胃がんリスク検査、歯周疾患検診等の実施。 また、受診率向上を目指し無料クーポン券や受診券の発行、40歳到達者及び受診に繋がりがしやすい対象者に個別勧奨通知を実施した。 健康教育・相談事業については、市民が生活の中で健康づくりを実践できるよう、生活習慣病予防のための教育や保健指導を実施した。	2	2	1	1	1	乳がん検診及び子宮がん検診の受診率において目標を達成することができた。今後も各種検診の充実を図るとともに、対象者へ効果的な方法で個別勧奨通知や媒体の配付等を実施し、受診率向上をめざす。 また、地域での健康教育や普及啓発活動を継続実施する。	2	健康づくり推進室
乳がん検診 対象者数 18,802人 受診者数 5,448人 子宮がん検診 対象者数 22,422人 受診者数 6,633人								

No	事業
94	学校と連携し、健康をおびやかす問題についての対策を推進します。 ◆「薬物乱用防止教室」の実施 ◆各校で学校保健委員会の開催

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.進捗確認 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・各学校において、薬剤師会や警察等と連携し、「薬物乱用防止教室」を開催した。 うち、薬剤師会による実施は、 国府小学校 6年 160人 6月20日（水）、信太小学校 5・6年 187人 9月12日（水）、横山小学校 5・6年 67人 9月19日（水）、鶴山台北小学校 5・6年 122人 10月3日（水）、青葉はつが野小学校 5年 220人 10月17日（水）、池上小学校 5年 36人 10月24日（水）、南池田小学校 6年 101人 11月14日（水）、光明台北小学校 6年 128人 11月20日（火）、黒鳥小学校 5・6年 140人 12月12日（水）、芦部小学校 5年 121人 1月15日（火）、鶴山台南小学校 6年 45人 1月23日（水） 合計 11校（回） 1,327名 ・残りの19校については、警察、保護司、養護教諭等による「薬物乱用防止教室」を実施した。	1	3	3 1 1	薬剤師の薬に対する深い見識からの話により、子どもたちはおくすりの大切さや薬物の危険性について、しっかりと学ぶことができた。今後も薬物乱用防止教室を学校保健計画に位置づけ、小中学校及び義務教育学校児童生徒に対し、計画的に実施する。	2	教育委員会指導室
各校園で年に1回以上の学校保健委員会を開催した。 生涯を通じた心身の健康保持・増進につながるよう各校園でテーマを設定して開催した。	1	3	3 1 1	各校園の課題に沿った内容で実技や講演会を実施している。また、保護者に多く参加してもらうために日時や内容等を考慮し、広く周知している。今後も継続する。	2	教育委員会指導室

No	事業
95	性差に留意し、自殺予防のための相談支援や心の健康保持増進に努めます。 ◆自殺予防対策事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.進捗確認 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・庁内ネットワークづくりや市職員の自殺予防の意識向上及び市町村自殺対策計画策定を目的に、和泉市自殺対策連絡会議を6回実施。また、職員研修の実施（ゲートキーパー研修1回27人、メンタルヘルス研修4回、214人の参加があった。） ・9月、3月の自殺予防週間・強化月間で、ポスター掲示、広報、相談窓口記載のティッシュを庁内外関係課窓口配布にて啓発。 「こころの体温計」を活用した普及啓発。 ・毎月こころのリフレッシュ相談会を実施し、25名の相談を受ける。 ・こころの健康からアンガーマネージメントをテーマに講座を実施し、22名が参加	2	3	1 1 1	ゲートキーパー研修等は年齢性別問わず実施できた。今後も自殺予防のための相談支援や研修を継続していく。H31.3月に「いのちを支える和泉市自殺対策行動計画」が策定されたので、計画の推進、庁内連絡会議を通して、計画の進捗管理と評価を行っていく。	1	健康づくり推進室

No	事業
96	妊娠、出産期における健康保持のための支援をします。 ◆両親教室(妊婦教室) ◆妊婦健康診査 ◆母子健康相談事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ やや進んだ 現状維持 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
保健師、助産師より妊娠・出産・育児に関する情報提供を行う。またグループワークや先輩ママとの交流の場をもち、経験談や情報を聴く場をつくった。また両親そろって参加できるよう日曜に開催した。 受講者数 延265人、夫受講者数 延57人 (再掲Ⅲ-11-28-91)	2	3	1 1 1	安心安全に妊娠・出産・育児に望めるよう、妊娠中から出産、育児について正しい情報提供を行い、母子の健全育成を図るため継続し実施していく。また家族にも情報提供を行い理解してもらうことで、家族で妊娠期から子育てを支援できるように実施していく。	2	健康づくり推進室
健全な妊娠・出産を迎える上で、妊婦の経済的負担を軽減するために、妊娠届時に「妊婦健康診査受診券」を発行し、1人当たり合計120,000円の公費負担を行った。17,461件の妊婦健診について公費負担を行った。 また、多胎妊婦に関しては追加で受診券(5,500×5枚)を発行した。	1	2	1 1 1	妊娠期からの切れ目ない支援の一環として、平成29年10月1日より多胎妊婦へ妊婦健康診査受診券(5,500円×5枚)を追加発行した。単胎妊婦よりもリスクの高い多胎妊婦の健診を充実させ、より安心安全な妊娠出産を迎えられることと、経済的負担の軽減を推進した。	2	健康づくり推進室
安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、面接・電話・訪問による相談・支援を実施。特に、妊娠期の早い段階から母子の健康や子育てに関する相談に応じ、必要な情報提供や助言を行った。 母子保健指導 平成30年度 13,707人	2	3	1 1 1	安心・安全な妊娠・出産・子育て期を過ごせるよう、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援が提供できるよう、今後も支援を継続する。	2	健康づくり推進室

No	事業
97	HIV／エイズや性感染症については、大阪府と連携し偏見を取り除き、正しい知識の普及や感染予防に努めます。 ◆HIV／エイズ等のポスター掲示等による普及活動

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ やや進んだ 現状維持 進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
HIV予防週間は、ポスターを掲示し普及啓発を行った。	2	3	1 1 1	引き続き大阪府と連携し正しい知識の普及を行う。	2	健康づくり推進室

No	事業												
98	個人のプライバシーに配慮した女性のための健康に関する相談窓口を充実します。 ◆健康相談事業												
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。						【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。							
実施状況（事業報告）						今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった			事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
骨密度検診、特定健診結果説明会で面接を実施。 機能訓練教室やヘルシー運動教室にて、面接を実施。 電話・来所・訪問での相談に対し、健康相談を実施。 健康相談 延 1,283人						2	3	1	1	1	健(検)診や教室等を通して健康相談を実施できた。H31.3月に第3次健康都市いずみ21計画も策定されたため、今後も健康課題の解決のため、引き続き実施していく。	2	健康づくり推進室

基本目標Ⅳ 人権が尊重される環境をつくる 施策の方向 12 あらゆる暴力の根絶

施策⑨ 暴力を容認しない社会風土の醸成

No		事 業													
99		「女性に対する暴力をなくす運動」を展開し、暴力を容認しない社会風土を醸成するための啓発や講演会等を行います。 ◆キャンペーンの実施 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施													
		【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。					【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。								
		実施状況（事業報告）				今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課		
		・和泉シティプラザにて、啓発期間に「パープル・ライトアップ」「レインボーカラーライトアップ」を実施し、機運の醸成に努めた。 ・女性に対する暴力をなくす運動期間等を記載した啓発用マグネットシートを作成し、公用車に貼り付け啓発を行った。 ・モアイずみ通信10・12月号にて、女性に対する暴力をなくす運動期間について啓発を行った。 ・男女共同参画センター登録団体にパープルリボン作成の協力を依頼し、こども未来室と連携し、パープルオレンジ(児童虐待防止月間)WRリボンを市職員に配布、また、市民に対し市役所玄関に設置を行った。モアイずみ窓口、生涯学習センター窓口等にて、パープルリボンを配布し、パープルリボンの由来及び運動期間の啓発を行った。 ・図書コーナーにDVに関する書籍を集め、特設コーナーを設置した。				2	3	1	1	1	今後も女性に対する暴力をなくす運動について周知を図り、暴力を許さない社会風土の醸成を行う。			2	人権・男女参画室
		「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。 タイトル: イマドキの恋愛事情を考える～暴力も束縛もない関係づくりのために～ 開催日: 平成30年11月7日(水) 参加人数: 153人/定員: 200人				1	3	1	1	1	デートDV対象の年代に対し講演を行い、デートDVの防止について意識向上を行った。 今後においても、若い世代に対し啓発を行っていく。			2	人権・男女参画室

No	事業
100	「男女共同参画週間」・「人権週間」等を通じて、広く意識啓発のための活動を行います。 ◆男女共同参画週間事業の実施 ◆「いのち・愛・人権」市民の集い、人権啓発講座、他

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
①広く市民に男女共同参画に対する理解を深め、その取り組みの輪を広げるために男女共同参画週間啓発事業として、ミニフォーラムを実施。 (平成30年度男女共同参画週間事業) 開催日: 6月16日(土)14:00~16:15 内容: 映画「オケ老人！」上映 参加人数: 464人/600人定員 ②平成30年6月号広報いずみ及びモアいずみ通信5・6月号に男女共同参画週間事業を掲載。また、啓発用マグネットシートを公用車に貼り付け、市役所敷地内にはのぼりを設置し啓発を行った。	1	3	1 1 1	市民のニーズを踏まえ、引き続き実施していく。 今後も、広報いずみやいずみメール、チラシ、男女共同参画センターの機関誌などを活用し、市民への周知を図り、参加を呼び掛け目標値をめざす。 広報いずみに掲載することで、男女共同参画週間事業については、広く市民に周知できたと考える。	2	人権・男女参画室
・「いのち・愛・人権」市民の集い」参加者に広報物を配布し、女性の人権などの人権課題について啓発を行った。 ・どんな状況でも夢や目標をあきらめず生きていくためのヒントや子育ての話をきくことで、女性や中高年のエンパワメントにつながった。 平成30年12月1日(土) 午後2時~午後3時40分 コミュニティセンター3階 講師 辻井いつこ「明るく、楽しく、あきらめない」 参加者210人	2	2	3 1 1	今後も引き続き女性の人権に関する視点を取り入れて啓発事業に取り組みます	2	人権・男女参画室

No	事業
101	子ども・若者・成人と、年齢に応じて暴力によらない解決方法を身につけるための学習機会を提供します。 ◆男女共同参画社会づくり講座の実施 ◆暴力によらない解決ブックレットの活用 ◆スクールカウンセラーの効果的な活用による生徒指導 ◆保育所や幼稚園での集会や日常の保育、教育の場で保育(教育)計画に基づいた指導

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
「女性に対する暴力をなくす運動」期間に桃山学院大学と共催し、デートDVを啓発するため、デートDV対象の年代である大学生が参加しやすい大学構内で実施した。 タイトル: イマドキの恋愛事情を考える～暴力も束縛もない関係づくりのために～ 開催日: 平成30年11月7日(水) 参加人数: 153人/定員: 200人 (再掲Ⅳ-12-29-99)	1	3	1 1 1	デートDV対象の年代に対し講演を行い、デートDVの防止について意識向上を行った。 今後においても、若い世代に対し啓発を行っていく。	2	人権・男女参画室

暴力によらない解決ブックレットを活用し、問題解決力育成ワークにある、子どもと良い関係を作るワークや心を落ち着かせるワーク、表現力を育てるワークを実施するように指示した。これらに取り組むことで、子ども自身が自己の思いや考えを表現する喜びや嬉しさを知り、さらにその気持ちを相手に伝えることができるまでの行動過程を体感することで子ども自身がエンパワメントされ自己肯定感の確立につながった。	1	2	1	1	1	今後もアンガーマネージメントなどの暴力によらない解決方法の学習の機会を充実させる。	2	教育委員会指導室
スクールカウンセラーの効果的な活用を指示し取り組んだ。スクールカウンセラーは、16小学校に配置し、中学校は全9校に、義務教育学校1校に配置している。 小学校での相談件数は1,419件、相談人数2,025人。中学校での相談人数は、4,020人である。また、スクールカウンセラーが講師となり、子ども理解や暴力によらない解決方法の育成についての教職員研修を、のべ25回(中学校24回、小学校1回)行った。	1	2	3	1	1	スクールカウンセラー連絡会の実施を継続し、さらなる相談体制の充実を図った。	2	教育委員会指導室
・日々の保育の中で、自分の思いを出せる環境を整え、子どもたちのけんかの場面などをとらえ、人を傷つけることは良くないことであること、どのようにすれば良かったかということ、相手の気持ちにも子ども自身が気づいていけるようにした。 ・各年齢の中で、一人一人の子どもを大切に保育を年間を通して実施した。	1	3	1	1	1	引き続き場面場面で知らしていく。	2	こども未来室

施策⑩ 性犯罪等の防止対策及び暴力に対応する相談窓口や支援機関の周知

No	事業
102	様々な媒体を活用して、それぞれの暴力に適応した相談窓口について広く周知します。 ◆暴力等DVの相談業務 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆相談窓口の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加し、やすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
		1.進んだ 2.やや進んだ 3.進捗確認 4.進まなかった	(1)	(2)	(3)			
暴力等DVについては、母子父子自立支援員による相談を行い、関係機関と連携をとっている。 DV相談23件	2	3	1	1	1	(成果)被害者に寄り添いながら関係機関と連携をとりながら支援を行った。 (今後の対応)今後も引き続き関係機関と連携をとりながら支援を行う。	2	こども未来室
地域包括支援センターを中心に普及啓発を実施。 高齢者虐待防止に関する研修回数15件。	2	3	1	1	1	虐待者は配偶者(夫)や息子が上位を占める傾向。引き続き男女共同参画の視点を持って虐待防止に向けて周知啓発が必要。	2	高齢介護室
・広報いずみ、モアいずみ通信に相談窓口を掲載する。 ・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。(和泉市総合医療センター、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター等) ・連携する関係各課(室)の相談窓口リーフレットを設置、補充管理。	1	3	1	1	2	場所によっては、補充頻度が多いところがあるので、補充管理をしっかりと行う。 引き続き、相談窓口や支援機関の周知に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
103	正犯罪被害相談、性暴力救援センター・大阪（SACHICO）等の性犯罪専門の相談窓口を周知します。 ◆相談窓口の周知

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理。（和泉市立病院、人権文化センター、北部及び南部リージョンセンター、コミュニティセンター、シティプラザ等） ・連携する関係各課（室）の相談窓口にはリーフレットを設置、補充管理。	1	3	1 1 1	引き続き、相談窓口や支援機関の周知に努める。	2	人権・男女参画室

No	事業
104	性犯罪等女性や子どもへの暴力防止のため、関係団体と連携を図り犯罪防止の啓発活動、地域の安全情報の提供を推進します。 ◆地域防犯対策事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・ひたくり防止カバー取付けキャンペーン、女性を対象とした防犯ブザーの配布活動を実施した。 ・青色防犯パトロールカーを使用して、通勤・通学路の見守り活動を実施した。 ・和泉総合防犯センター（ICPC）と連携して、不審者情報等のメール発信を実施した。	2	2	1 1 1	防犯ボランティア団体と連携して、積極的に犯罪被害防止活動に取り組んだ結果、犯罪発生件数を減少させることができた。今後も、犯罪発生実態に即した犯罪被害の防止活動を推進する。	2	公民協働推進室

No	事業
105	セクシュアル・ハラスメント、性犯罪やストーカー行為等、女性に対する暴力防止のため、学校を含む関係機関・関係団体との連携を基に、女性の人権侵害に関する市民の意識の向上と安全・安心のまちづくりの重要性を啓発します。 ◆地域防犯対策事業 ◆スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用、関係機関との連携 ◆特別相談の実施

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.進捗不明 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
・ひたくり防止カバー取り付けキャンペーンの実施 12回 ・痴漢等の性犯罪被害の防止を目的とした防犯ブザーの無料配布を実施（春と秋の安全運動で合計3回） ・地域安全キャンペーン等 10回（女性被害防止キャンペーン、110番の日キャンペーン等）	2	2	1	1	1	性犯罪の発生件数は減少したことから、引き続き、女性・子どもに的を絞った啓発活動に取り組む。また、防犯カメラの増設を積極的に推進して、ハード面からも犯罪の防止に努めていく。	2	公民協働推進室
具体的な被害状況を例示して、すぐに実践できる防犯対策を紹介するとともに、和泉警察署の協力を得て、護身術教室を開催した。	2	3	1	1	1	参加者の年代や職業等によって内容を変えていき、より効果的な防犯教室の開催に努める。	2	公民協働推進室
和泉市配偶者からの暴力対策連絡会議への参加を行い、関係各課や関係機関と連携するとともに、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの効果的な活用及び子ども未来室や子ども家庭センターと連携し重要性を啓発した。スクールカウンセラーは、16小学校に配置し、中学校全9校や義務教育学校1校にも配置している。小学校での相談件数は、1,419件、相談人数2,025人。中学校での相談人数は、4,020人である。スクールソーシャルワーカーは、2名を拠点校に配置し、様々な事案に初期段階から関わり、早期対応を充実させ、チーフスクールソーシャルワーカーが各ワーカーの管理・統括をし、支援体制の充実を図った。また、担当校からの要請のあった件についても、相談に応じ、支援を行った。	1	2	3	1	1	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの相談体制を更に充実し、関係機関との連携を図る。	1	教育委員会指導室
女性に対する暴力をなくす運動啓発事業【特別相談】 （電話相談） 実施日：①10月31日（水）午前 0人・午後 1人 ②11月29日（木）夜間 0人 （法律相談） 実施日：11月10日（土）午後1時～4時 5人 （カウンセリング） 実施日：11月10日（土） 2人	1	3	1	1	1	女性に対する暴力をなくす運動を啓発するとともに、引き続き、特別相談の実施に取り組む。	2	人権・男女参画室

施策⑩ セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進

No	事業											
106	セクシュアル・ハラスメント等の相談窓口の周知を図ります。 ◆労働相談の周知 ◆女性の相談窓口の周知 ◆セクハラ防止対策相談窓口の周知											
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。					【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。							
実施状況（事業報告）					今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
広報いずみやホームページで本事業の周知を図るとともに、就労支援相談等で来庁した市民でセクシュアル・ハラスメント等の問題を抱える者に対し、本業務への誘導を行った。 平成30年度 労働相談者数実績 毎月第1日曜日 男性6人 女性8人 毎月第2金曜日 男性4人 女性8人 合計26人					2	3	1	1	1	今後も様々な媒体を活用し本業務とともに、大阪府や労働基準監督署でも相談窓口を設置していることを周知する。	2	商工労働室
・職場におけるセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載した「女性の相談窓口」リーフレットを公共施設の女子トイレに設置、補充管理 ・平成31年1月号広報にて全戸配布（73,000部）を行った男女共同参画啓発カレンダーにセクシャル・ハラスメント相談窓口を掲載し、相談窓口の周知を図った。					1	3	1	1	2	引き続き、相談窓口の周知に努める。	2	人権・男女参画室
大阪労働局の「セクシュアルハラスメントによる労災請求の相談窓口」の周知など、職員への情報提供を行うとともに、常に参照できるように市グループウェアに掲載した。 また、セクシャルハラスメントの発生に対し、厳格に対応し、被害者の救済に努めた。					2	2	1	1	1	相談窓口の周知、市グループウェアに掲載を行ったことで、職員に対して十分な周知を図ることができた。	2	人事課

No	事業												
107	事業主に対して、セクシュアル・ハラスメント等を防止するために講じなければならない措置を周知します。 ◆和泉市企業人権協議会等を通じた周知 ◆セクシュアル・ハラスメント等を防止するための情報提供												
【今年度の事業の実施度】 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。 4.実施していない。													
【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】 1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価 (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。 (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。 (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。													
実施状況（事業報告）						今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.廃小 5.廃止	担当課
和泉市企業人権協議会の会員事業所にセクシュアル・ハラスメント等を防止するために講じなければならない措置の周知を図るとともに、就労支援相談を実施するなかでセクシュアル・ハラスメント等の問題を抱える者に対し、本市が実施する労働相談事業や大阪府総合労働事務所などの関係機関を案内した。						2	3	2	1	1	事業主がセクシュアル・ハラスメント等を防止するために講じなければならない措置について、市ホームページ掲載やチラシ配架等により周知を図る。	2	商工労働室
セクシュアル・ハラスメント等を防止するため、商工労働室と双方から情報を発信した。 厚生労働省等から送付されるハラスメントに関する冊子等については、人権・男女参画室やモアいずみ（和泉市男女共同参画センター）のラックに配置し、情報提供を行った。 また、大阪府作成の「女性のための働くルールBOOK」を市ホームページに掲載し、セクシュアルハラスメント等についての情報周知を行った。						1	3	2	1	1	引き続き、セクシュアル・ハラスメント等防止や、相談窓口についての情報提供を行う。	2	人権・男女参画室

No	事業
108	市職員や教員に対し、事業をなくすために研修等を実施します。また、市役所や学校におけるセクシュアル・ハラスメント等に対応するための体制を充実します。 ◆各校にセクシャル・ハラスメント対策担当者を設置 ◆セクハラ防止研修 ◆研修等への参加促進 ◆職員研修への参加促進

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度 事業 実施度	【施策の 進捗度】	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
		進んだ とやや進んだ と取組継続 4.進捗なかった	(1)	(2)	(3)			
各校において、複数名の担当者を置き、1名は必ず女性が担当している。 平成30年度の相談件数は、3件だった。	1	1	1	1	1	今後も複数の担当者を置き、1名は女性が担当するように指示する。指導室にも可能な限り女性担当者を置く。	2	教育委員会 指導室
セクハラへの正確な理解やモラル観を持ち、快適な職場環境の形成を図るため、啓発を実施した。 実施日：平成30年11月21日 研修内容：ハラスメント防止研修 参加人数：61名 【内訳】男性：51名 女性10名	2	3	1	1	1	課内マネジメントを行う係長級以上の職員を対象に1～2名の参加者を募集し、実施したことにより、施策の推進に寄与した。	2	人事課
市主催の研修会参加に加え、消防本部内で3月26日・27日の2日間で弁護士を招き「ハラスメント講義」を計4回開催し、全職員に参加を呼びかけハラスメント防止の徹底を図った。 3月26日・27日参加人数 136人	2	3	1	1	1	今後、研修等に参加数を可能な限り増加させる。	2	消防総務課
H30年11月21日開催のハラスメント研修に職員が参加し、研修内容を後日所属職員へ周知を行った。	2	3	3	1	1	セクハラへの正しい知識を習得し、また判断の難しいケースについての判断基準とその対処方法などについて学び、知識を深めることができた。	2	上下水道部 経営総務課

施策の方向 13 安心して相談できる相談体制の充実

施策⑫ 相談・支援体制の充実

No	事業
109	庁内の関係担当課及び関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介できるようにします。 ◆関係担当課や関係機関との情報共有 ◆生活保護等事業 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆基幹相談支援センター事業及び委託相談支援事業の実施 ◆市民相談事業 ◆いずみ子育てなんでも相談センター ◆教育センター相談事業 ◆青少年相談業務 ◆和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 ◆人権相談 ◆総合生活相談事業

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりとって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 進んだ やや進んだ 取組継続 進捗なかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1. 強化・充実 2. 継続 3. 改善・見直し 4. 縮小 5. 廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
関係課及び関係機関がどのような業務を担当しているかを再確認することで、来庁者等に的確な担当窓口を紹介することが出来た。	2	3	2	2	2	関係課や関係機関と更なる情報共有を行い、より迅速かつ丁寧な対応をしていく。	2	商工労働室

庁内の関係担当課及び庁外の関係機関が連携し、相談内容によつて的確な窓口を紹介することができた。生活保護等の相談については男女共同参画の視点や生活困窮者の人権を尊重し社会保障制度の充実につながる相談を行うことができた。 生活福祉課での面接相談件数は最近では、平成27年度が698件、平成28年度が794件、平成29年度が878件、平成30年度が931件となっている。	1	1	1	1	1	福祉総務課をはじめとする庁内の関係担当課及び庁外の関係機関との連携が重要となる。	2	生活福祉課
平成30年8月31日 高齢者虐待防止実務者会議開催 内容：平成29年度高齢者虐待対応報告及び事例検討 出席機関：和泉警察、和泉保健所、和泉市社会福祉協議会、障がい福祉課、人権・男女参画室、生活福祉課、地域包括支援センター	2	3	1	1	1	虐待者は配偶者（夫）や息子が上位を占める傾向。引き続き男女共同参画の視点を持って虐待防止に向けて連携促進が必要。	2	高齢介護室
基幹相談支援センター及び相談支援事業所等において専門の相談員が、障がい者やその家族等からの相談に応じ、必要な支援を行った。平成29年度からは自立支援協議会や各種部会の再編を行い、相談支援部会や就労支援部会において事業所間のネットワーク強化や質の向上取り組んだ。また、平成30年度においては、地域移行の推進、地域生活支援拠点の整備に新たに取り組んだ。	2	3	3	1	1	地域移行部会の立上げや地域生活支援拠点整備についての取り組みを行った。引き続き、基幹相談支援センター及び相談支援事業所等が、関係機関との連携をスムーズに行えるよう、ケースを通じて協力しあえる関係をめざす。	2	障がい福祉課
生活に様々な問題を抱える市民の相談を受けて本人の状態に応じた支援を実施した。 困窮以外相談件数727件（内男295件、女381件、不明51件）市民からの相談を受け、相談内容に応じ必要となる部署（制度）につながるよう助言や紹介等を行ったとともに、生活困窮者においては、経済的及び社会的困窮状態から早期に脱却することを実現するため、住宅確保給付金事業で5件、一時生活支援事業で20件、就労準備事業で10件、就労訓練事業で3件、自立相談支援事業による就労支援を33名に実施し、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。（平成31年3月末時点）	2	2	3	1	1	困窮以外の相談件数が、平成29年度の94件から平成30年度は162件と増加傾向にあった。平成30年度は災害に関する相談が非常に多くあった。今後も災害に備え、情報収集及び他課との連携を強化する。	2	福祉総務課
いずみ子育てなんでも相談センターに家庭児童相談員（4人：男1人、女3人）を配置し、乳幼児から18歳までの子育てや家庭内の問題（育児や学校に関する悩み、児童虐待等）について相談に応じた。相談内容によって、的確な窓口を紹介した。 平成30年度 相談件数合計 983件	2	3	3	1	1	関係機関と情報を共有・連携し、適切支援を行った。	2	こども未来室
各学校園に市および府などの相談窓口を周知した。 ・長期休業の前に休み中の過ごし方についてのプリント（相談窓口の一覧を掲載）を配付した。 ・大阪府教育委員会や教育センターの相談窓口（すこやかホットライン・チャイルドライン等）を紹介するプリントやカードを配付した。	2	3	3	2	2	引き続き、相談窓口の周知に努めるとともに、男女双方にとって相談しやすい丁寧な対応を心がける。	2	教育委員会指導室
青少年の健全な育成と自立支援につなげる相談、また、ニートやひきこもりなど、青少年問題に関する様々な相談に対し、その内容に沿った専門的な機関を紹介する。 相談方法：直接または電話による 対応時間：月～土曜日 午前9時～午後5時15分 ※日曜、祝日及び年末年始を除く	2	3	1	1	1	専門職員の配置がないため、青少年センターは専門機関を紹介する機関となり青少年による相談はありませんでした。今後も「広報いずみ」の相談案内欄の掲載を引き続き実施し、青少年の多方面に渡る問題解決を行う専門機関を紹介していきます。	2	青少年センター

「和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議」を通して、関係担当課及び関係機関との連携の強化を図った。 平成30年度和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議 平成31年2月14日開催 (内容) ①和泉市等の現状について ②和泉市関係各課のDV被害者支援の現状について ③個人情報漏洩防止に関するマニュアルについて ④大阪府のDV被害者支援の取組について	1	1	1	1	1	引き続き、関係担当課及び関係機関との連携を強化し、DV防止基本計画に基づき、DV被害者支援を行う。	2	人権・男女参画室
人権擁護委員による人権相談を24回実施。内容に応じ、庁内関係課や法務局などの関係機関を紹介した。	1	3	3	1	1	今後も引き続き相談業務だけでなく啓発にも取り組む。	2	人権・男女参画室
人権に関する相談、進路選択に関する相談等、生活に関するさまざまな相談を受け、相談の中で相談内容を把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて対応をおこなった。 相談件数98件 延べ件数194件	1	3	1	1	1	人権問題に関する相談は減少しているが、進路選択に関する相談が多く、関係機関と連携を図りながら取り組んでいる。	2	人権・男女参画室

No	事業
110	在住外国人のための、仕事や生活等に関する相談窓口の整備や外国語による支援体制を充実します。 ◆外国人への相談事業 ◆総合生活相談事業 ◆女性問題総合相談事業の実施

【今年度の事業の実施度】

- 1.男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
- 2.男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
- 3.男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
- 4.実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1)事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2)事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3)事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.取組開始 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)			成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
多言語で対応する「外国人のための1日相談サービス」を実施した。また、(公財)大阪府国際交流財団の大阪府外国人情報コーナー等の相談窓口についてちらし等で周知を行った。	2	3	2	3	1	今後も相談事業をより活用してもらえるよう、周知に努める。	3	人権・男女参画室
人権に関する相談、進路選択に関する相談等、生活に関するさまざまな相談を受け、相談の中で相談内容を把握し、関係各課・関係機関と連携し課題解決に向けて取り組んだ。 相談件数98件 延べ件数194件 (再掲Ⅳ-13-32-109)	1	3	1	1	1	今後も市広報誌やホームページ、プラザだより、プラザニュース等様々な方法で市民に相談窓口の周知を図り実施していく。	2	人権・男女参画室
DV被害者が外国人の場合、大阪府女性相談センター外国人専用電話を案内し、ニーズに応じてつなぐ。	1	3	2	1	2	電話相談での情報提供及び、庁内の支援体制の強化を図る等、途切れない支援ができるよう努める。次年度は市ホームページに窓口情報について掲載を検討する。	2	人権・男女参画室

施策⑬ 相談員の研修の充実

No	事業
111	相談に携わる職員等に対し、セクシュアル・ハラスメント等に関する関連法令や情報提供、対人援助技術の習得や関係機関の交流等、資質の向上のための研修を実施します。 ◆保護者支援のための研修の充実 ◆高齢者権利擁護推進事業 ◆研修の実施

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
保護者支援や人権についての学ぶことができる研修を実施できた。 ・自尊心を育む保育 ・より良い職場づくり ・人権を大切にしたい保育	1	3	1 1 1	今後も保護者支援及び人権に関わる研修を実施し参加を呼びかける。	2	こども未来室
地域包括支援センターを中心に普及啓発を実施。 高齢者虐待防止に関する研修回数15件。 (Ⅳ-12-30-102 再掲)	2	3	1 1 1	虐待者は配偶者(夫)や息子が上位を占める傾向。引き続き男女共同参画の視点を持って権利擁護支援に向けて周知啓発が必要。	2	高齢介護室
・電話相談員に対し相談員としての資質向上を図るため、電話相談員研修会(1回/月)を実施した。 ・和泉市配偶者等からの暴力対策連絡会議担当者と、その他、市民窓口対応に携わる職員等対象にDV防止研修会を開催。 テーマ:「男性にとっての暴力とは～DVを生み出すメカニズムを知る～」 開催日:平成31年1月17日 対象:DV連絡会議担当者及び窓口担当職員等 参加人数:29人	1	1	1 1 1	今年度は、外部機関(包括支援センター・いきいきネット相談支援センター)にも参加を呼びかけ受講してもらった。 引き続き、職員等の資質向上に努める。	2	人権・男女参画室
人権擁護委員会研修会 平成30年9月12日 フードバンク大阪見学	1	3	3 1 1	女性の人権問題の理解を深めるため、研修などを実施していく	2	人権・男女参画室

施策⑭ 人権侵害の相談・救済の充実

No	事業
112	相談に携わる職員等に対し、セクシュアル・ハラスメント等に関する関連法令や情報提供、対人援助技術の習得や関係機関の交流等、資質の向上のための研修を実施します。 ◆法律相談 ◆人権相談

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりと取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況(事業報告)	今年度の事業実施度	【施策の進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.現状維持 4.進まなかった	事業の企画や実施にあたり配慮したこと (1) (2) (3)	成果・課題・今後の対応	【今後の方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
市民等の権利の擁護と人権の保障に関する相談に応じることを趣旨として実施しており、相談件数739件(内 男297件女442件)でした。 相談内容は離婚:男21件女93件、遺産・相続:男70件女119件、家事:男9件女21件、不動産:男57件女62件、損害賠償:男44件女41件、債権・債務:男40件女39件、倒産:男3件女6件、労働:男1件女10件、その他:男52件女51件(平成31年3月末時点)	2	2	3 1 1	離婚相談においては、今後の生活について経済的なことや子育ての相談等もあることから、こども未来室や生活福祉課につなぐケースや、こども未来室からくらしサポートに紹介されて法律相談を受けるケースなど、他課との連携ができた。今後も、関係機関との連携を強化していく。	2	福祉総務課

人権擁護委員による人権相談を22回実施(毎月第1、3月曜日の午後1時30分～午後3時30分) 特設相談を3回実施(憲法週間・人権擁護委員の日・人権週間) 【平成30年度相談件数】 1件(高齢者の人権侵害)	1	3	3	1	1	今後も引き続き相談業務だけでなく啓発にも取り組んでいく。	2	人権・男女参画室
---	---	---	---	---	---	-------------------------------------	---	----------

施策⑤ DV防止対策の推進

No	事業
113	DV防止基本計画に則り、総合的・計画的に推進します。

【今年度の事業の実施度】

1. 男女共同参画の視点をしっかりもって取り組むことができた。
2. 男女共同参画の視点をもちながら、おおむね取り組むことができた。
3. 男女共同参画の視点を弱く反映出せるしか取り組むことができなかった。
4. 実施していない。

【事業の企画や実施にあたり配慮したこと】

1. している 2. 部分的にしている 3. していない で評価
- (1) 事業の企画、立案において対象となる人や現状を男女別に把握した。
- (2) 事業の方向性において男女共同参画に配慮した。
- (3) 事業の実施において、男女双方にとって、利用・参加しやすいような配慮をした。

実施状況（事業報告）	今年度 の実施度	【施策の 進捗度】 1.進んだ 2.やや進んだ 3.進捗維持 4.進まなかった	事業の企画や 実施にあたり 配慮したこと			成果・課題・今後の対応	【今後の 方向性】 1.強化・充実 2.継続 3.改善・見直し 4.縮小 5.廃止	担当課
			(1)	(2)	(3)			
DV防止基本計画の事業について、関係各課(室)と連携し、被害者の支援を行った。	1	2	2	1	1	引き続き、DV防止基本計画を推進する。	2	人権・男女参画室